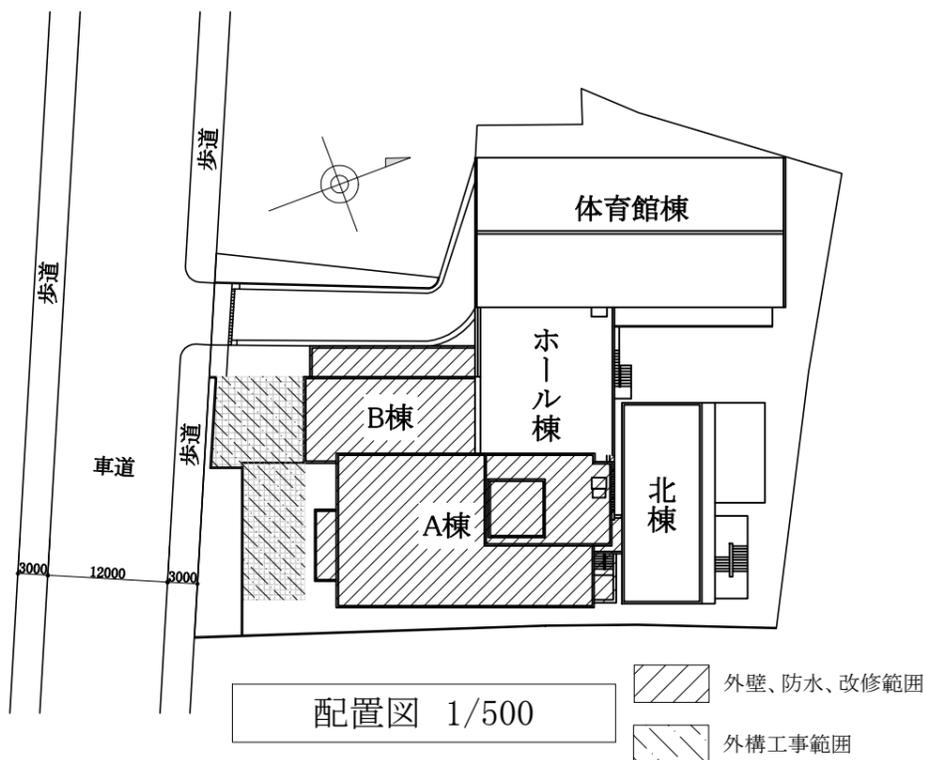




案内図



配置図 1/500

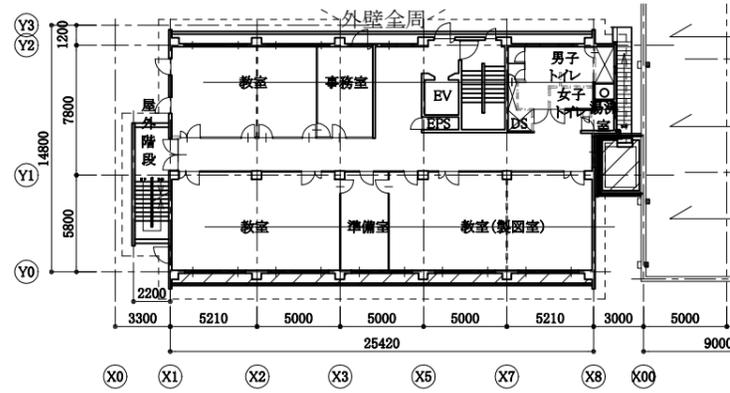
工事概要

<p>1.外壁改修</p>	<p>【共通事項】 ・外壁施工数量調査を行うこと。 部位:外壁一般部、タイル面、軒天等下地コンクリート部分</p> <p>【既存塗膜の除去】 タイル仕上げ以外の外壁部、軒天、屋外階段 ・石綿含有面:仕上げ塗材及び下地調整材(石綿含有)の除去(集塵機付きディスクグラインダーケレン工法) ・石綿非含有面:仕上げ塗材の除去(RA種)</p> <p>【外壁用塗膜防水材塗】 ・下地調整材塗(C-2塗り、外壁化粧目地埋め) ・外壁用塗膜防水材塗(ローラー工法、さざ波模様、シリコン仕上げ) ※柱型、梁型、バルコニー部等、色塗り分けを行う</p> <p>【外装薄塗材E塗】 ・軒天:下地調整材塗(C-1) ・ドライエリア:下地調整塗(C-2) ・外装薄塗材E塗(アクリルリシン)</p> <p>【タイル面(二丁掛タイル)】 ・浮き部:外壁補修による ・クラック部、欠損部:張替え 500枚 ・タイルクリーニング:バイオ洗浄</p> <p>【基礎巾木(コンクリート仕上げ面)】 ・高圧洗浄(10~15MPa程度) ・下地調整材塗(C-2塗り) ・アクリルシリコン樹脂系塗料塗り (基礎巾木専用品、塗回数はメーカー仕様による)</p> <p>【外壁補修(タイル下地含む)】 ・1.0mm以上のひび割れ部:Uカットシーリング充填工法、ポリマーセメントモルタル仕上げ 200m ・欠損部:エポキシ樹脂モルタル充填工法 □100 1,000か所 ・爆裂部:鉄筋露出部ケレン、防錆処理、エポキシ樹脂モルタル充填工法 □100 1,000か所 ・浮き部:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 300穴</p> <p>【シーリング打替え】 ・建具周囲、水切り上:MS-2/W20程度 ・タイル(外壁)目地:PS-2/W20程度 ・その他、図示による</p>	<p>【建具・非鉄金属部クリーニング】 バイオ洗浄 ・アルミ建具、ステンレス建具 ・ステンレス製とい(□100)、ステンレス製手すり、ステンレス製庇、ハト小屋、EXP.J.C(アルミ製)、アルミ笠木 ※ステンレス製とい及びアルミ笠木:取外し・再取り付け</p> <p>【耐候性塗料塗り(DP塗り) / 既存鉄鋼面】 下地調整RB種、錆止め塗料塗り(工程B種)後DP塗り ・鉄骨ブレース、鉄骨階段、鋼製手すり、EXP.J.C(鋼製)、鋼製建具(内外)</p> <p>【とい改修】 ・塩ビ製とい:撤去(支持金物共) 新設(硬質ポリ塩化ビニル管) 径は特記による</p>
<p>2.防水改修</p>	<p>【ウレタン塗膜防水】 ・既存がアスファルト防水部は、成形伸縮目地撤去後、シーリング(ポリウレタン系W20) ・下地処理:高圧洗浄(10~15MPa程度) ・ウレタン塗膜防水(X-2工法) ・ドレン改修(撤去・新設、特記なき限りφ100)</p> <p>【シート防水】 ・立上り撤去 ・平場:機械固定工法t2.0(S-M2) ・立上り:機械固定工法t2.0(S-M2)、塩ビ被覆鋼板溶着 ・ドレン改修(撤去・新設、特記なき限りφ100) ・脱気筒(SUS製)新設(1か所)</p>	<p>【天井改修(エントランス庇)】 ・既存ボード撤去、LGS下地共 ・ケイ酸カルシウム板(t6、□900)目透かし張り(LGS25形、@300程度)、廻り縁(目透かし型)共 ・点検口新設、1か所(□450、目地) ・素地ごしらえB種の上、外装薄塗材E塗(アクリルリシン)</p> <p>【タラップ改修】 ・既存タラップ撤去・新設 撤去:撤去部、爆裂部同等の補修 新設:(アメニティステップ付、アンカー固定式)</p> <p>【銘板シール張替え(ステンレス下地)】 ・シール①:□100/文字 ・シール②:2350*650</p>
<p>3.その他改修</p>		

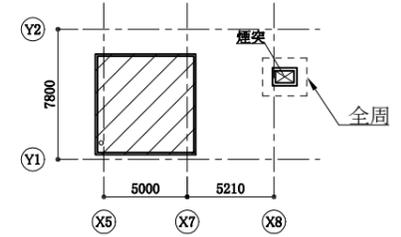
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事		設計者資格氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	案内図、配置図	図番	1 / 31	縮尺	1/500 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日			

凡例

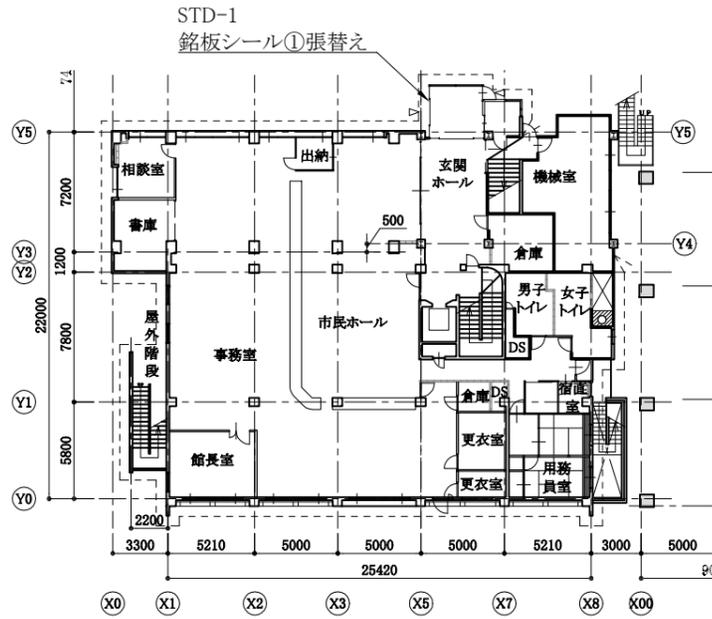
	外壁改修範囲	
	防水改修範囲	屋根、各階バルコニー、庇



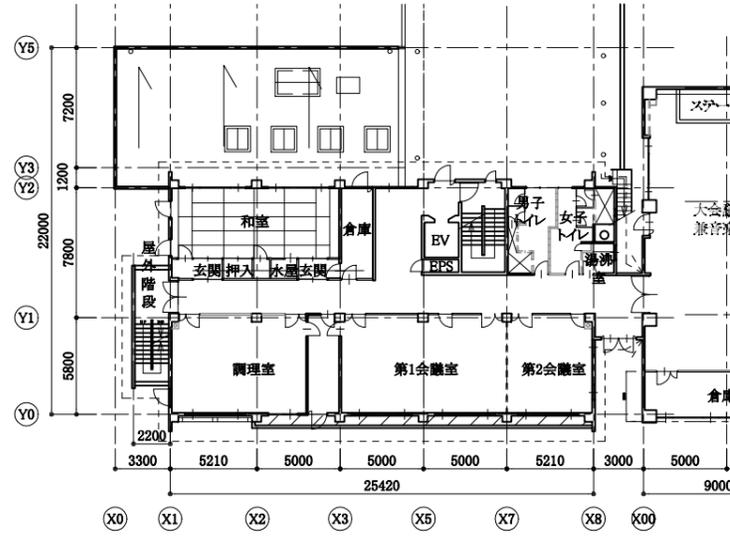
4階平面図 1/300



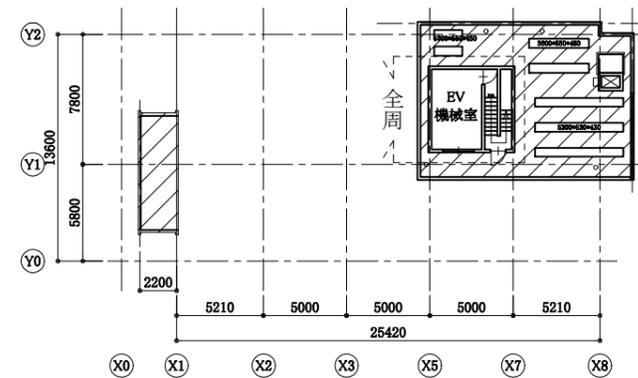
屋根伏図 1/300



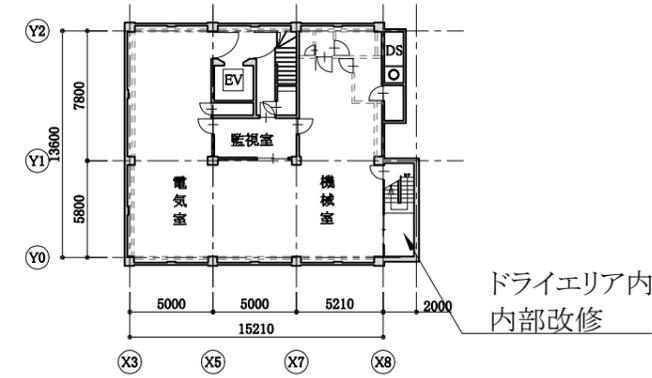
1階平面図 1/300



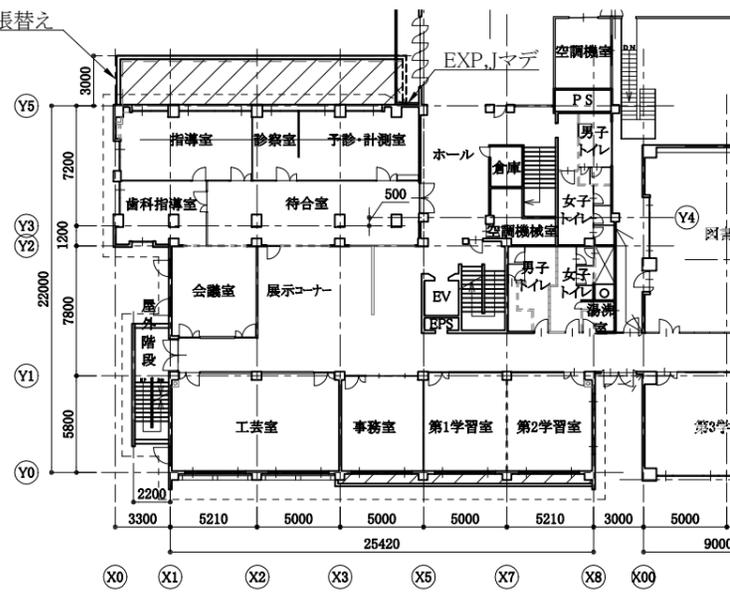
3階平面図 1/300



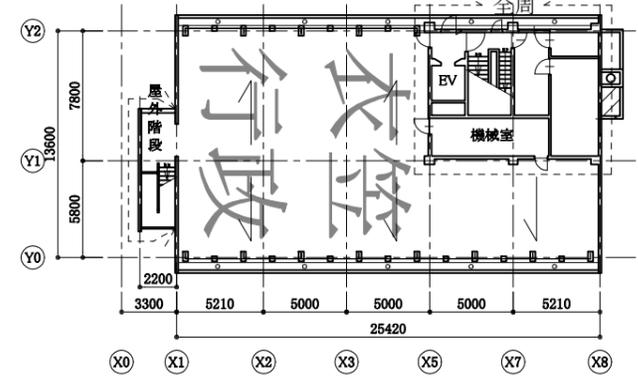
PH階平面図 1/300



地階平面図 1/300



2階平面図 1/300



R階平面図 1/300

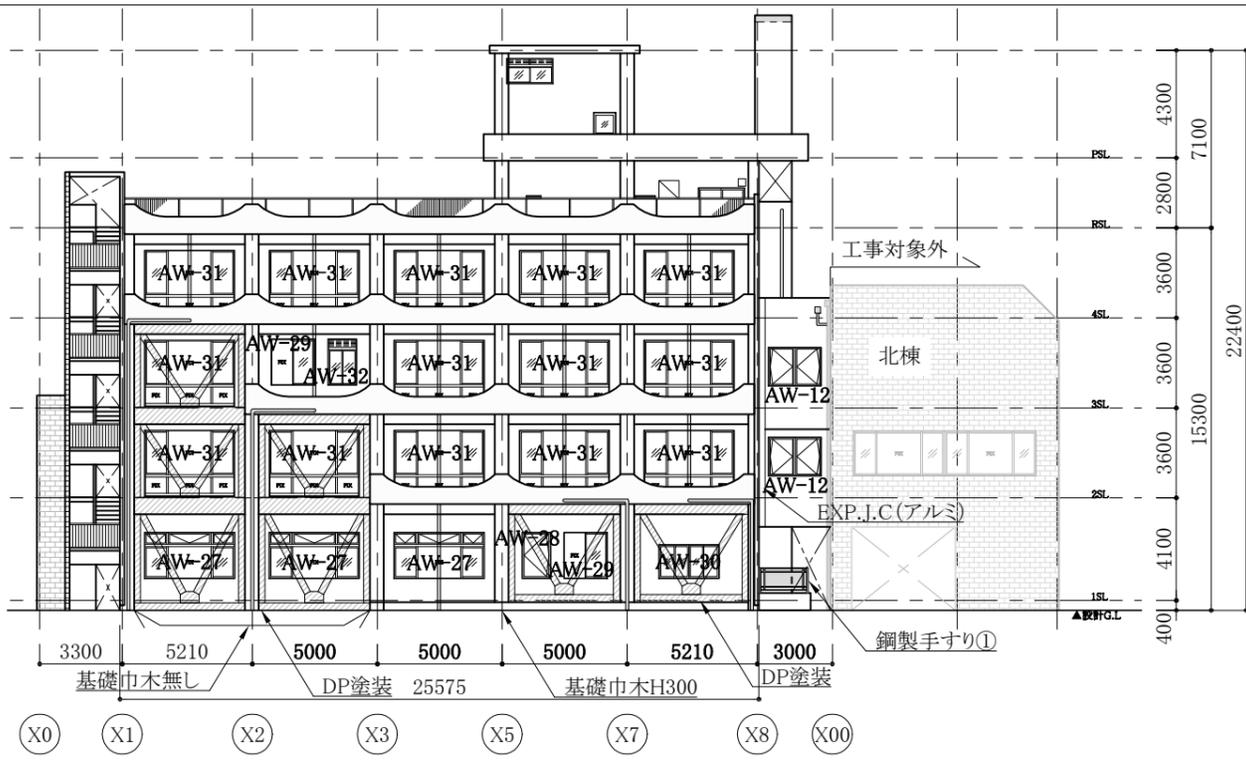
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 _____ 号		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	各階平面図	図番	2 / 31	縮尺	1/300 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日			

凡例

	タイル面
	タイル目地

建具表

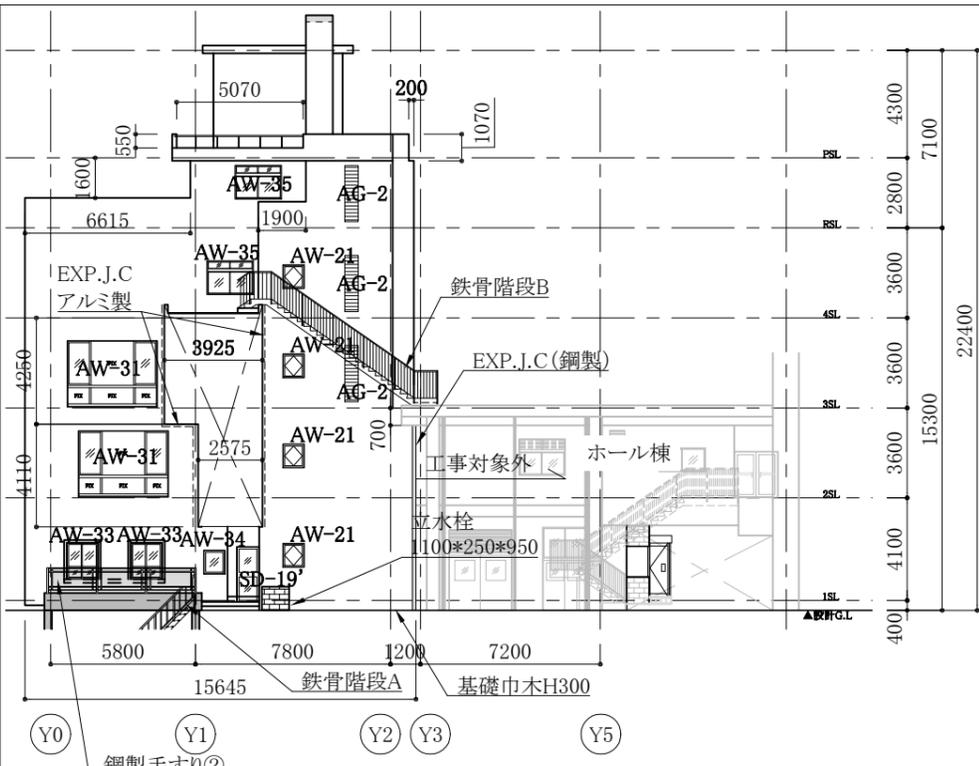
名称	W	H
AW-1	3600	1735
AW-2・2'	1100	1735
AW-3	1800	1735
AW-5	1770	1385
AW-6	2100	1735
AW-7	4270	1735
AW-8	1700	650
AW-9・9'	1000	1050
AW-10	600	1735
AW-10'	600	800
AW-12	2070	1500
AW-19	1200	800
AW-20・20'	2670	1085
AW-21	800	900
AW-27	3570	1800
AW-28	1100	1800
AW-29	1700	1800
AW-30	2370	1300
AW-31	3560	2600
AW-32	1100	1800
AW-33	1200	1400
AW-34	800	900
AW-35	1800	1300
AW-37	1800	900
AW-38	1800	950
SD-14	2100	2185
SD-19'	850	2185
SD-20	850	1800
SD-21	1800	3300
SD-22	1700	3300
SD-23	850	1800
STD-1	7250	2200
AG-1	2200	1300
AG-2	550	2520
AG-3	600	700
AG-4	800	700



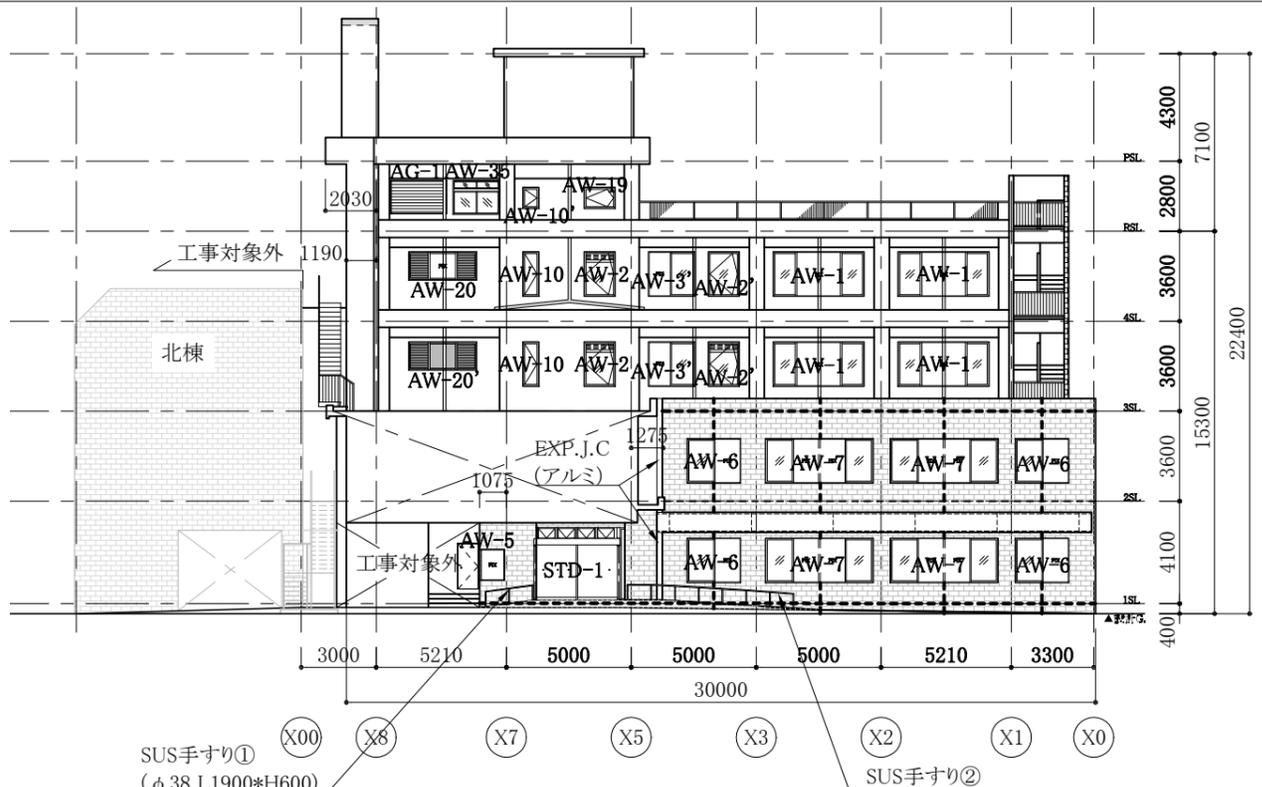
東面立面図 1/200

凡例

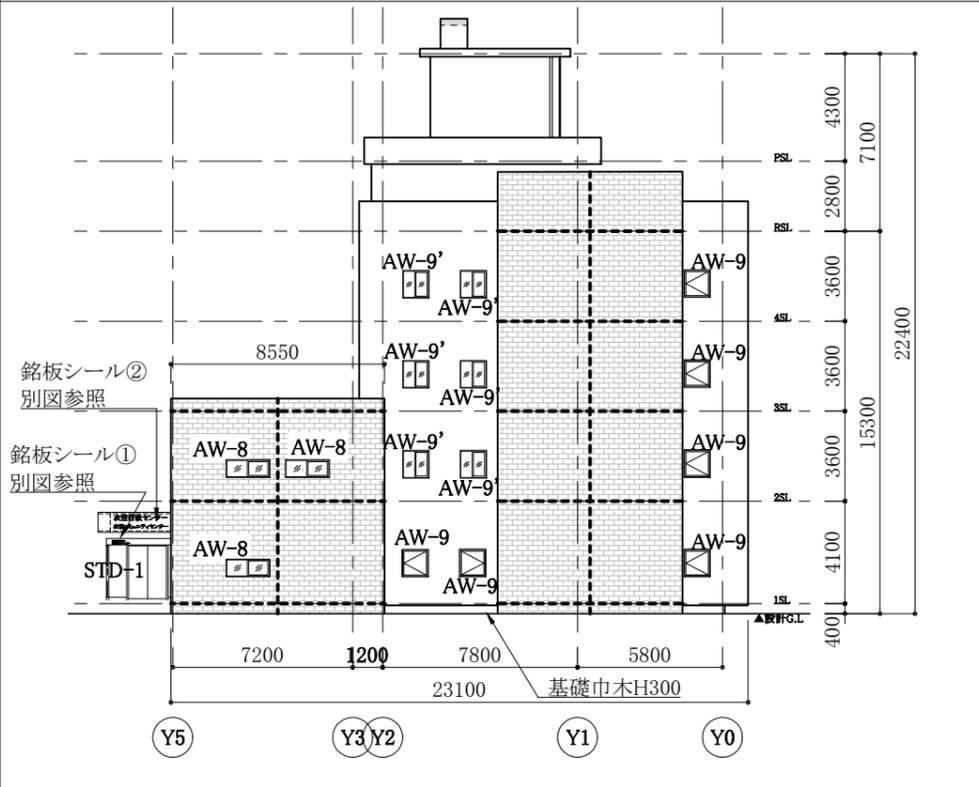
	DP塗装(鉄骨ブレース)
--	--------------



北面立面図 1/200

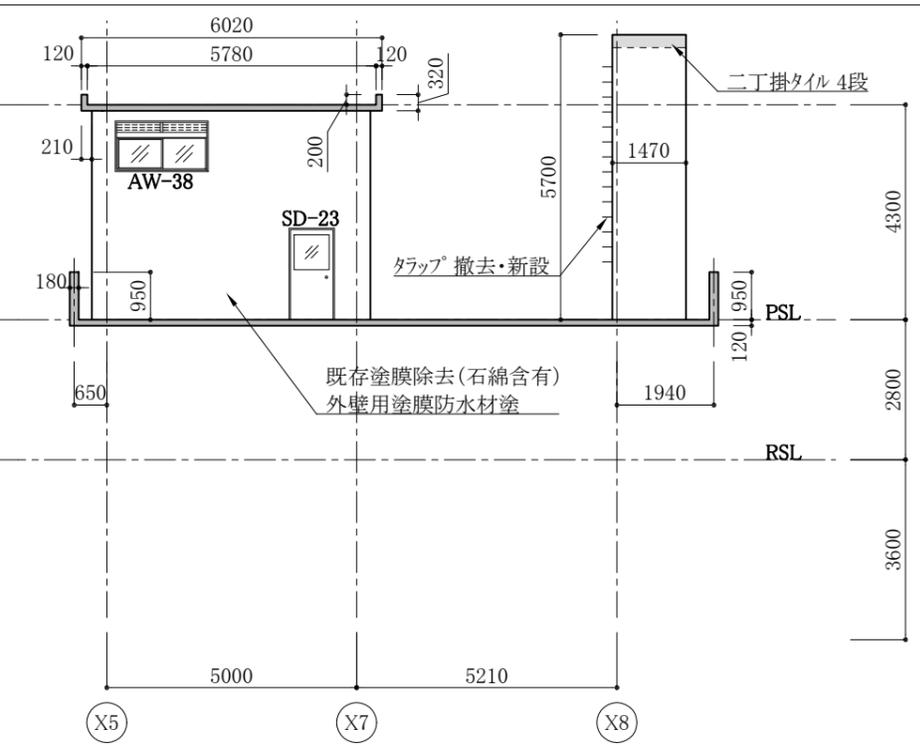
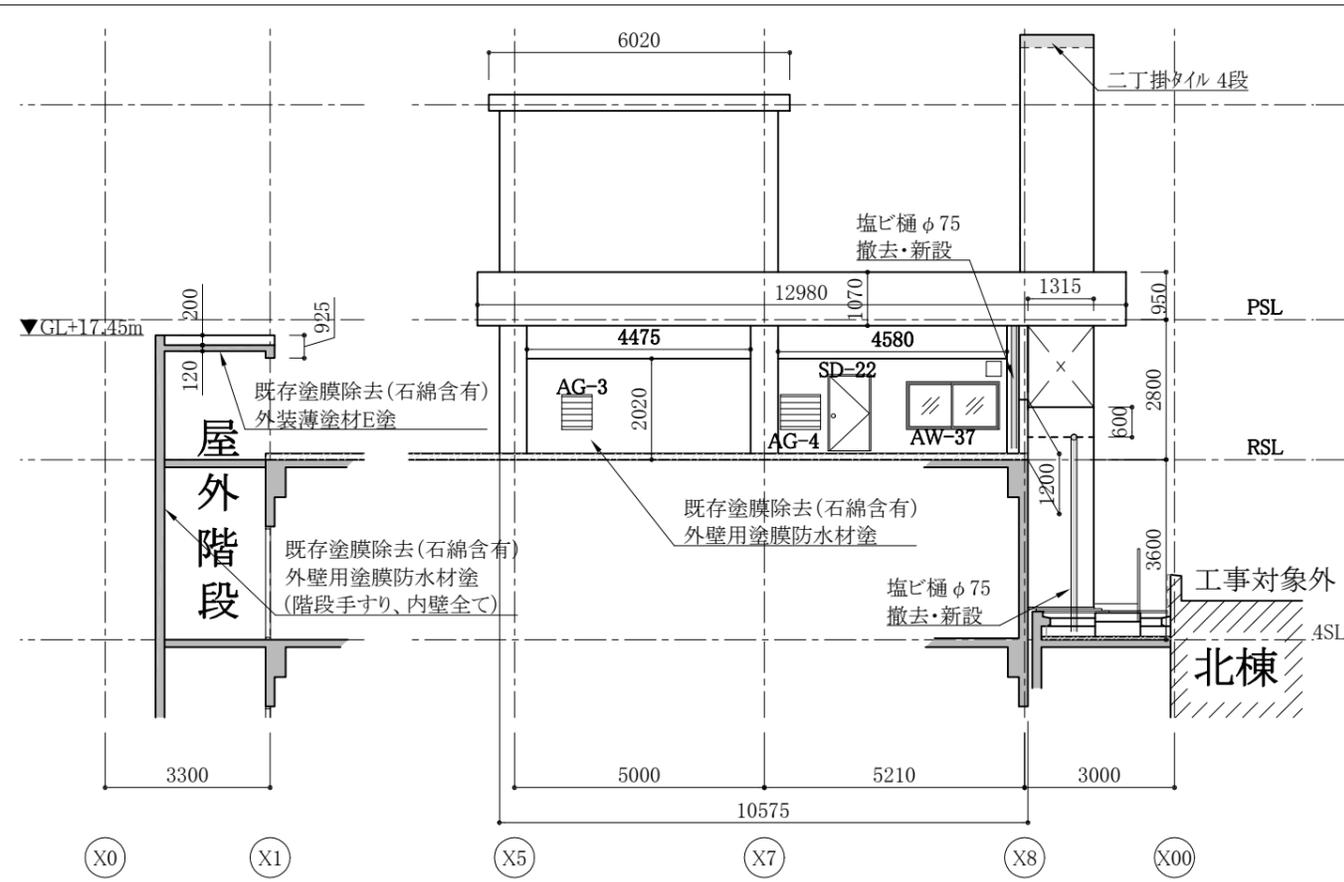


西面立面図 1/200



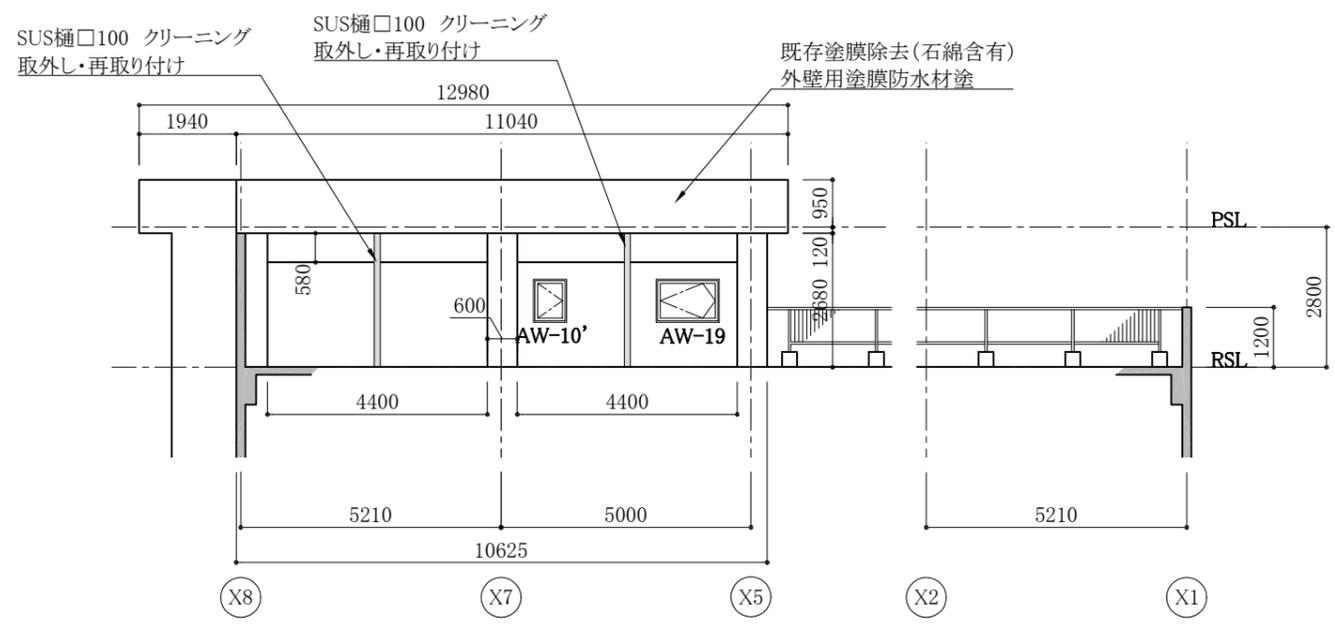
南面立面図 1/200

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事		設計者資格氏名	級建築士登録第	課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	立面図	図番 3 / 31	縮尺	1/200 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日		

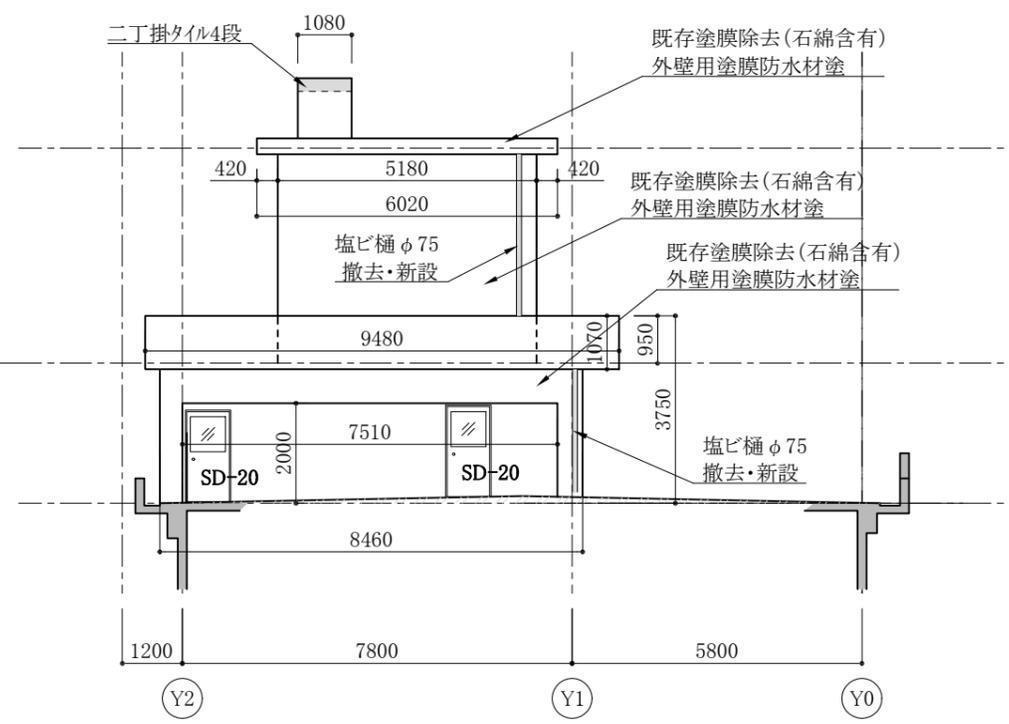


Y1通り断面図 1/100

Y1通り断面図 1/100

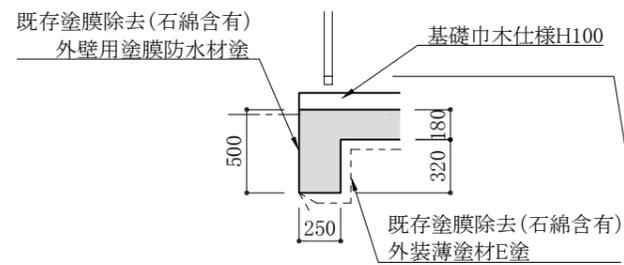


Y2通り断面図 1/100

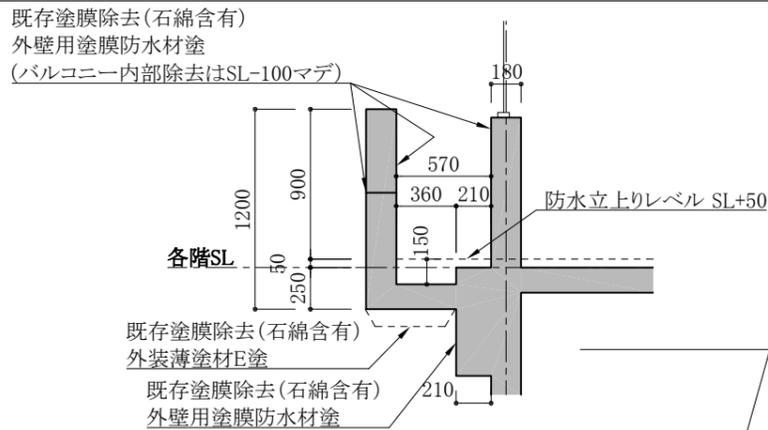


X5通り断面図 1/100

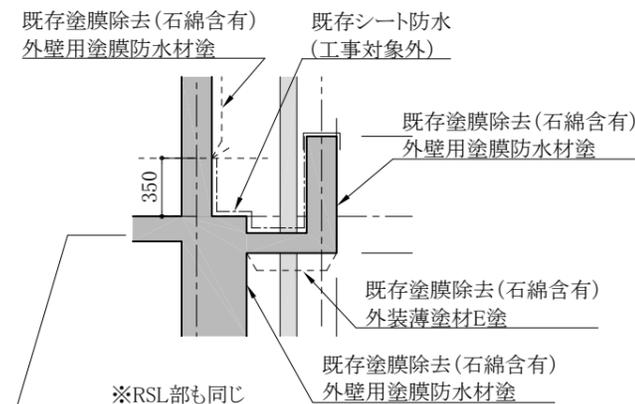
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格 氏名	級建築士登録第 号		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	断面図1	図番	4 / 31	縮尺	1/100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日			



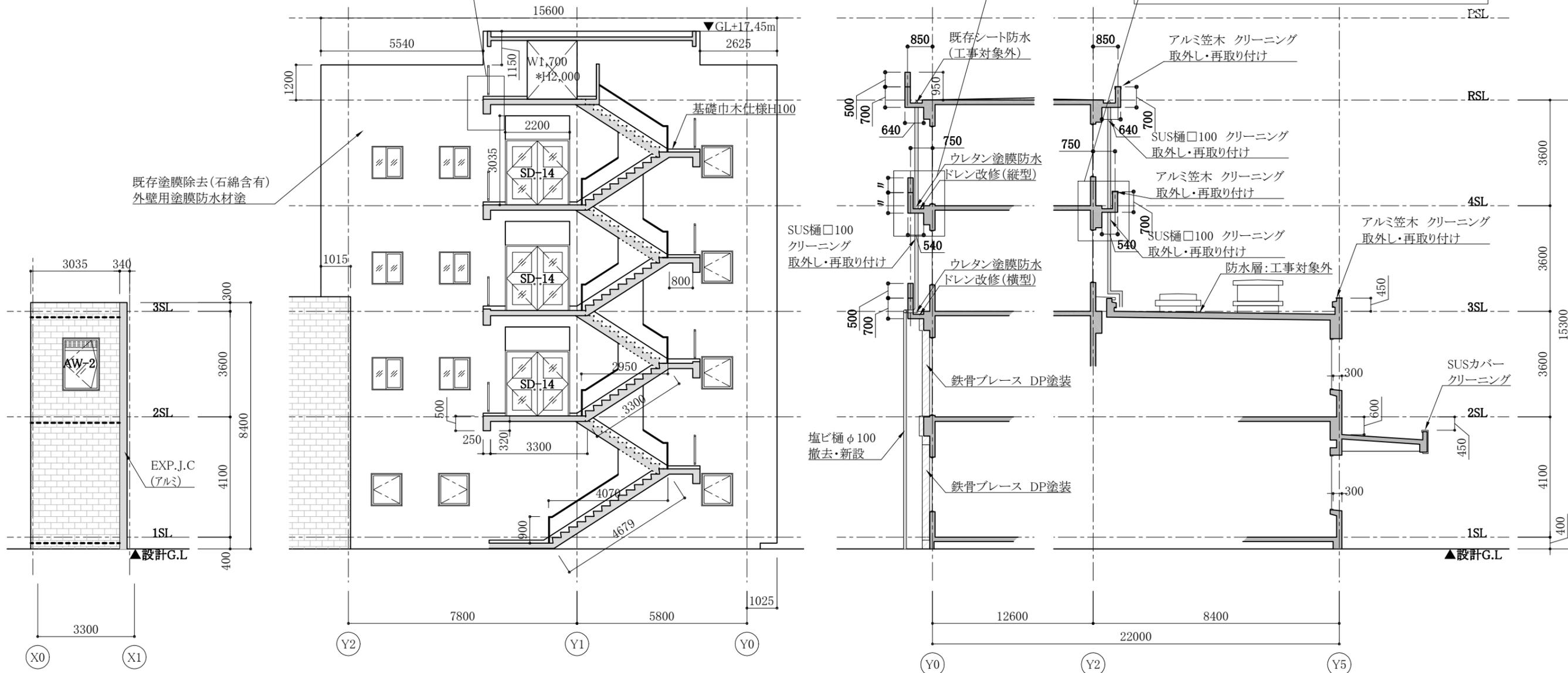
拡大図 1/30



Y0通りバルコニー 部分断面図 1/30



Y2通りバルコニー部分断面図 1/30

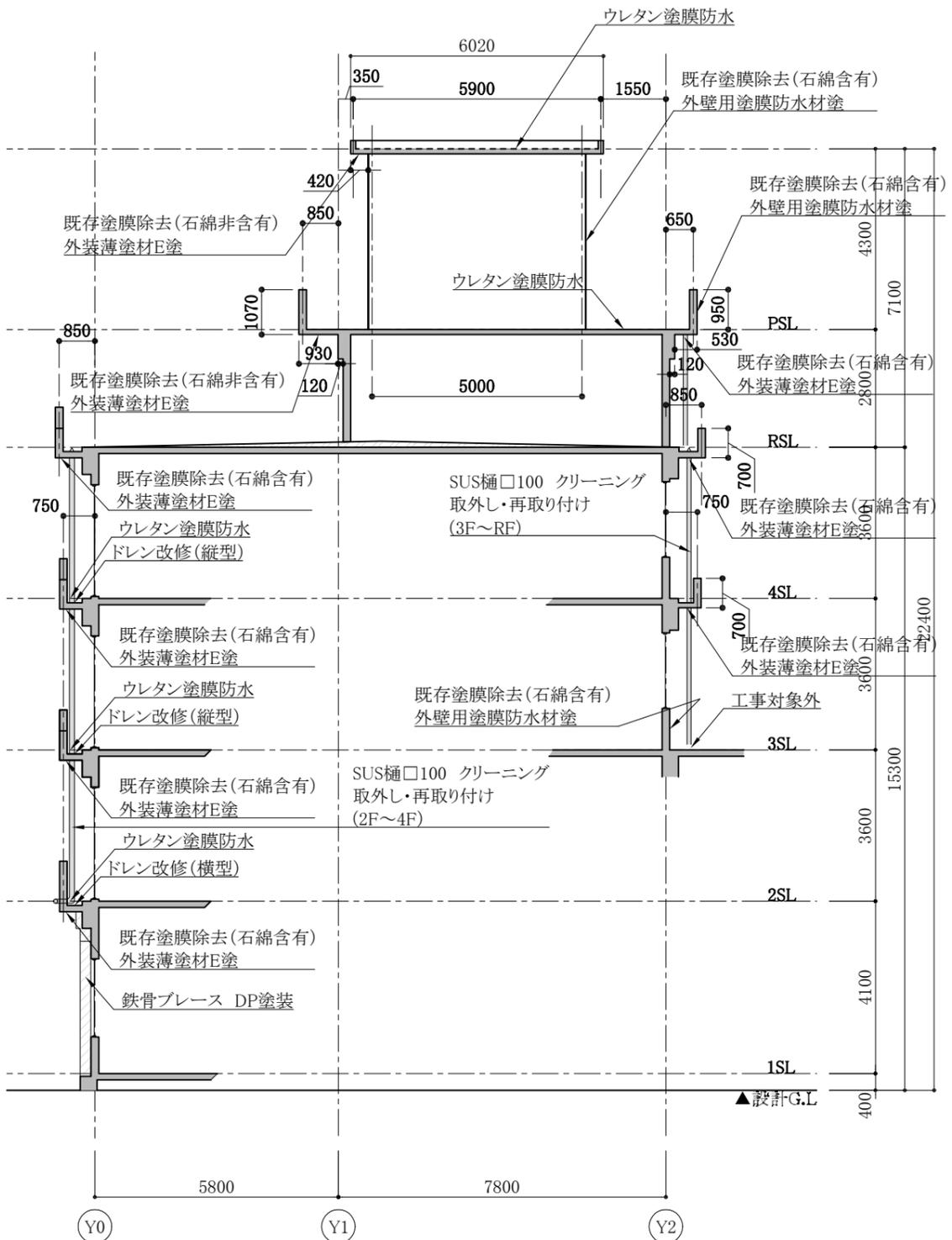


Y2通り立面図 1/100

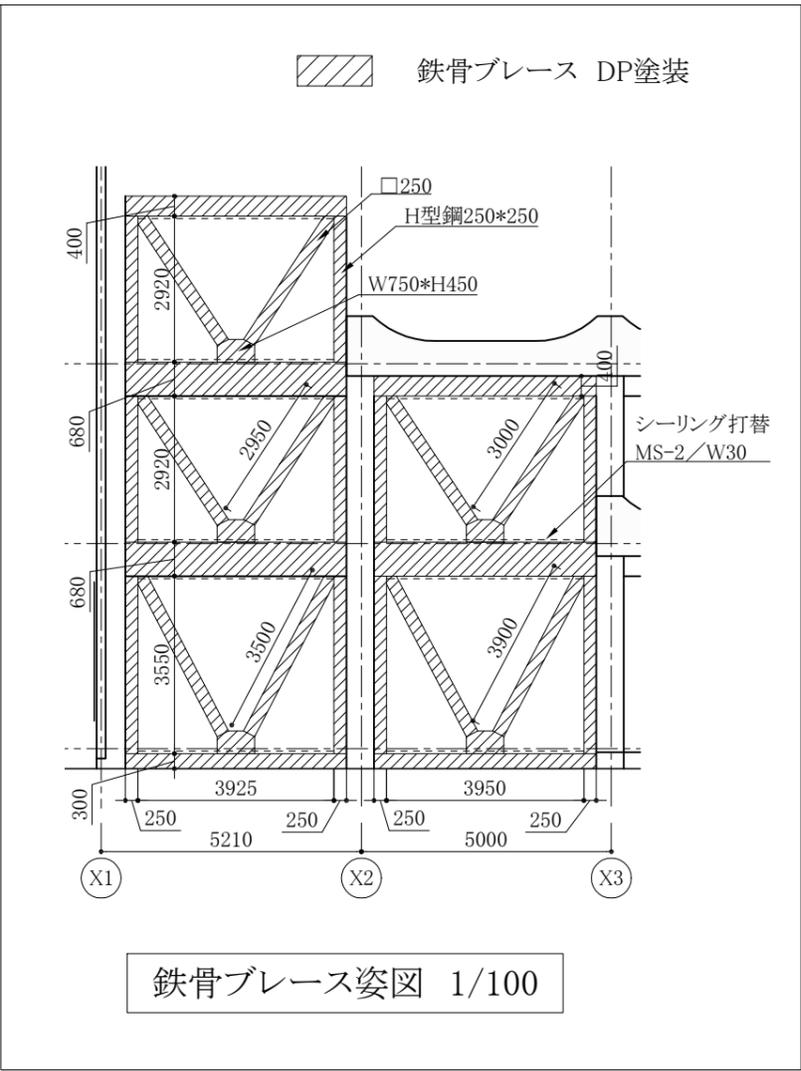
X1通り立面図 1/100

X2通り+3,000断面図 1/100

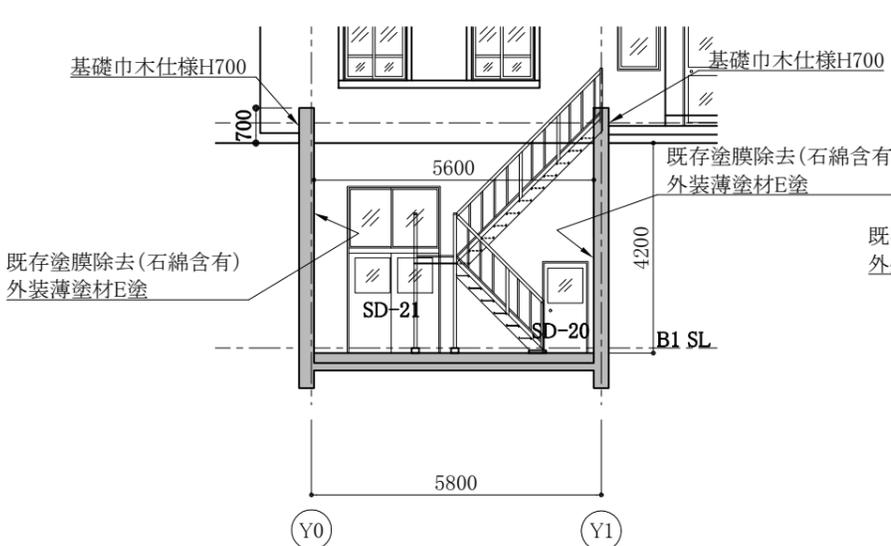
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	断面図2	図番	5 / 31	縮尺	1/30 1/100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日			



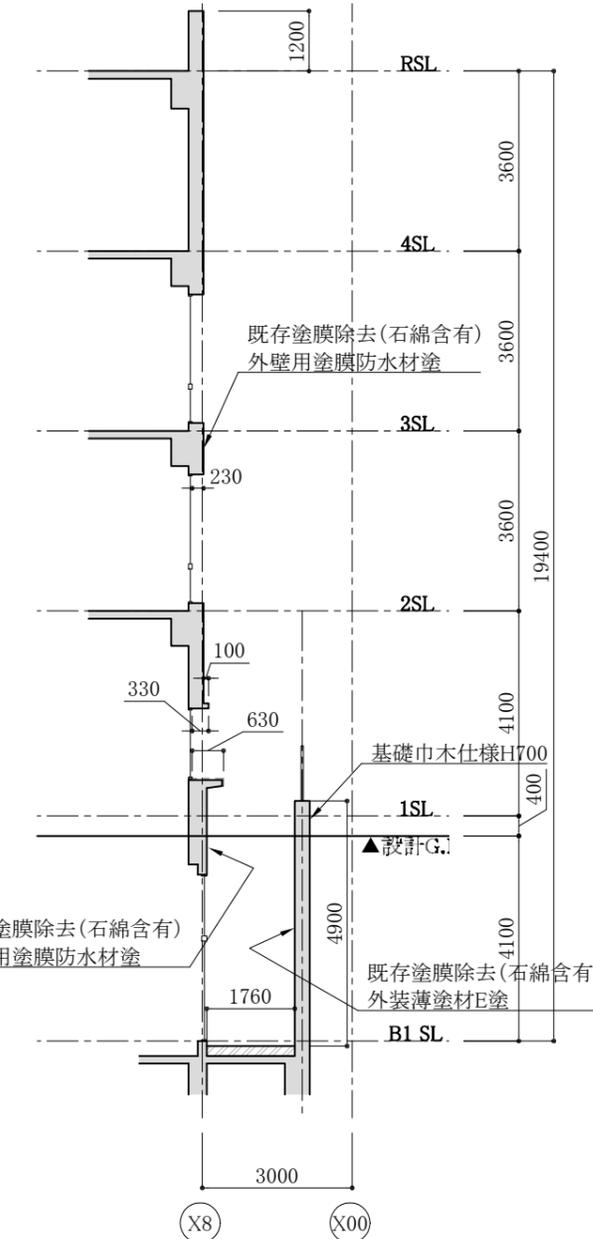
X7通り断面図 1/100



鉄骨ブレース姿図 1/100



X8通り断面図 1/100

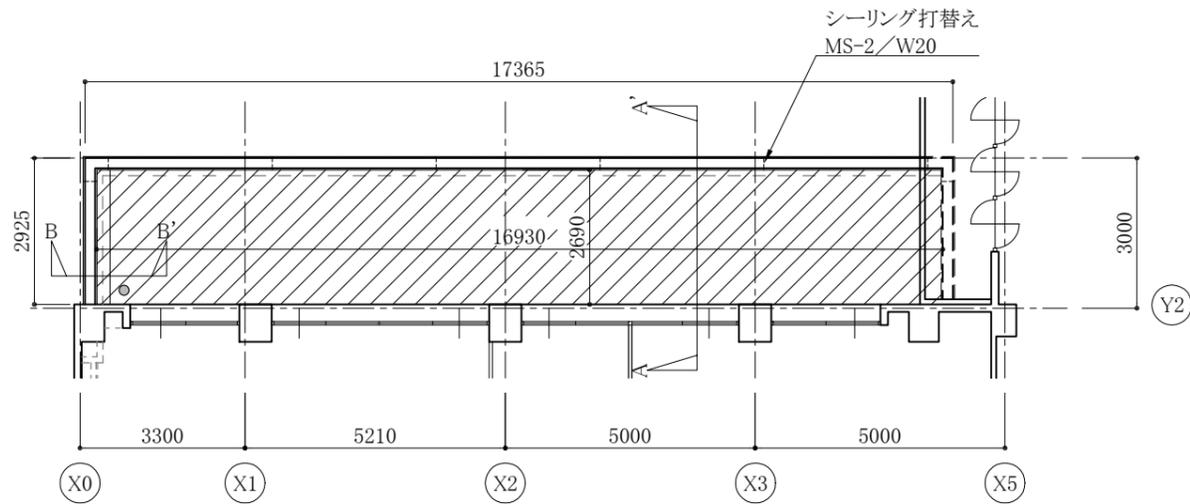


Y0通り+1,500断面図 1/100

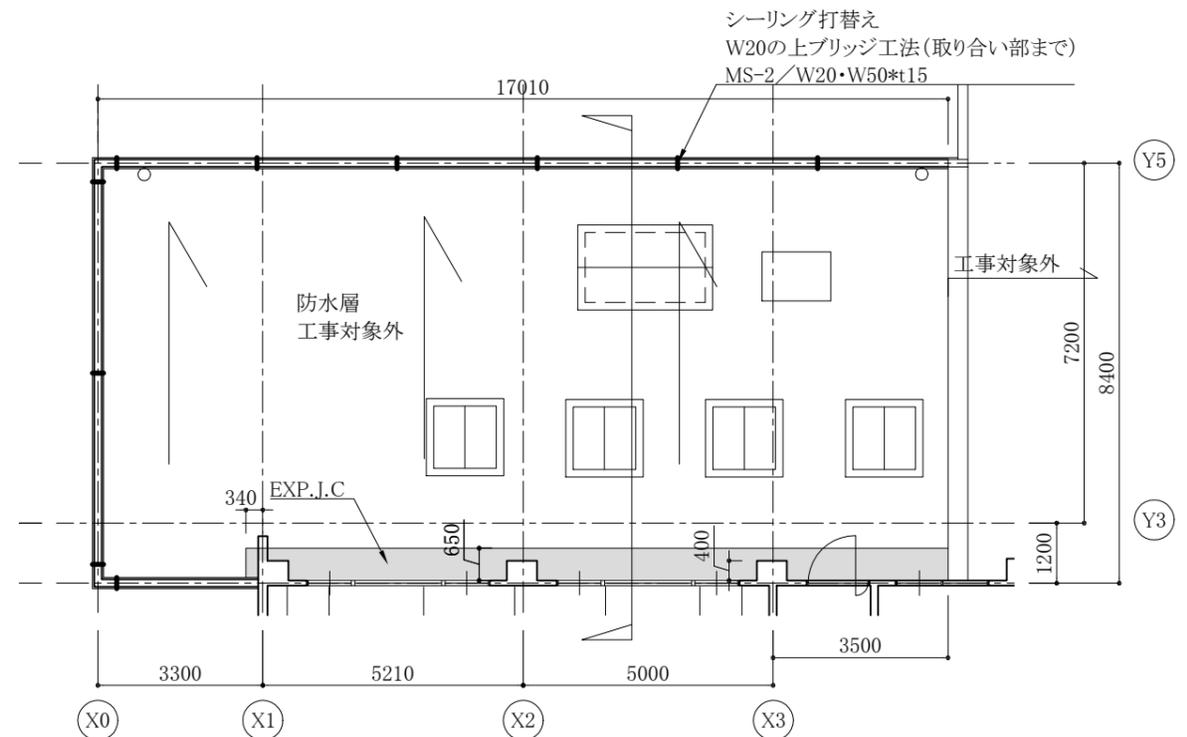
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号		課長	主査等	担当者	
図面名称	断面図3	図番	6 / 31	縮尺	1/100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日	横須賀市 都市部 建築計画課		

凡例

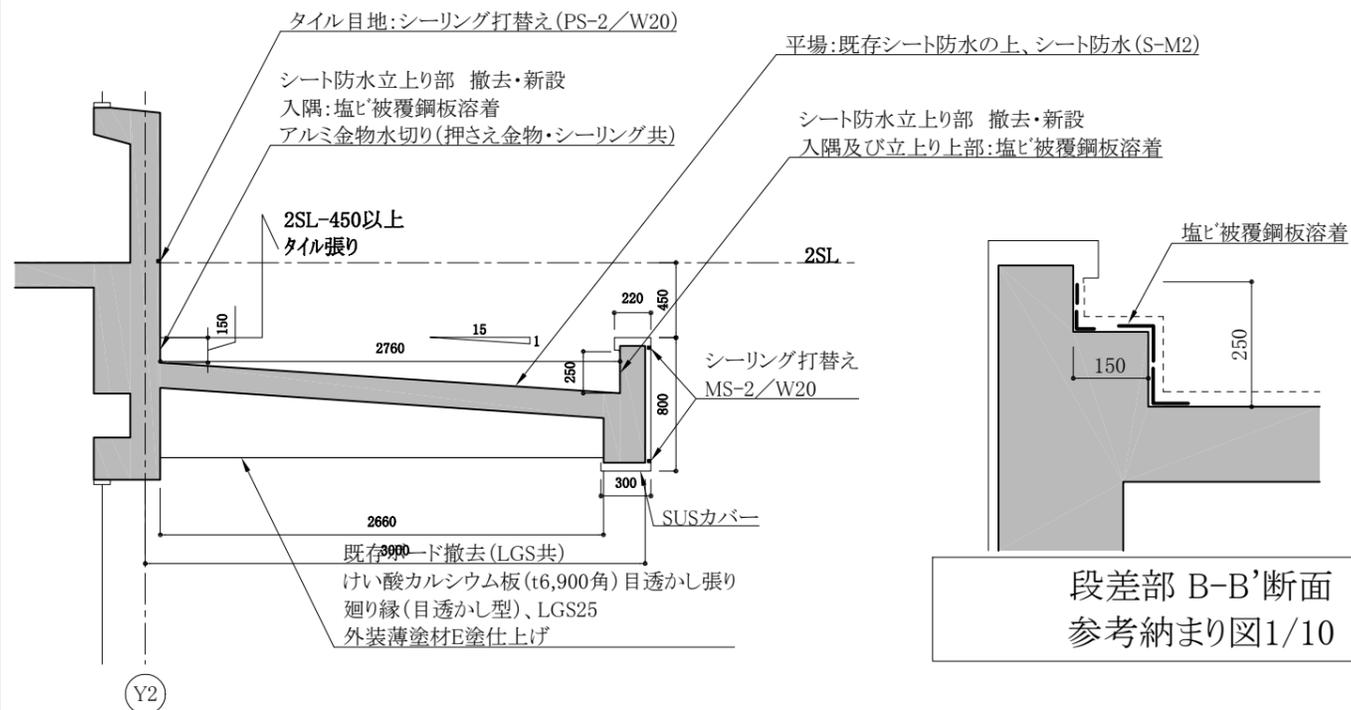
	シート防水(S-M2工法)
	ドレン改修(縦型)



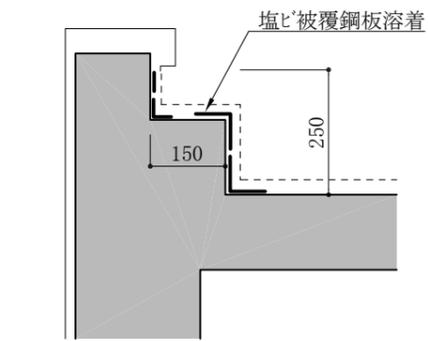
2F底平面図 1/100



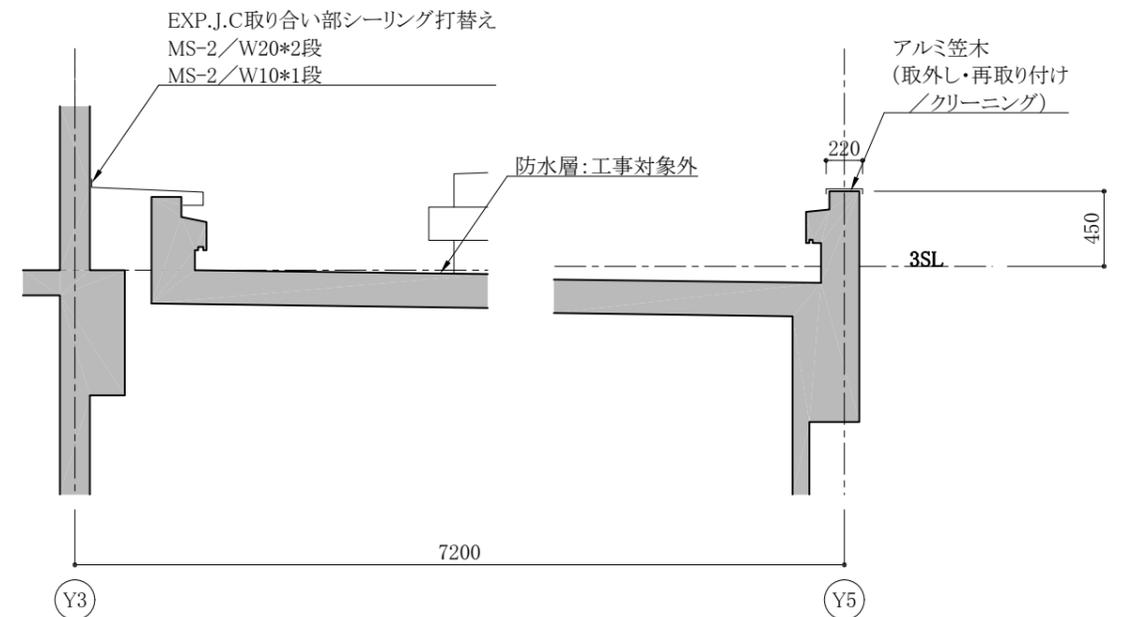
3F下屋平面図 1/100



A-A'断面図 1/30

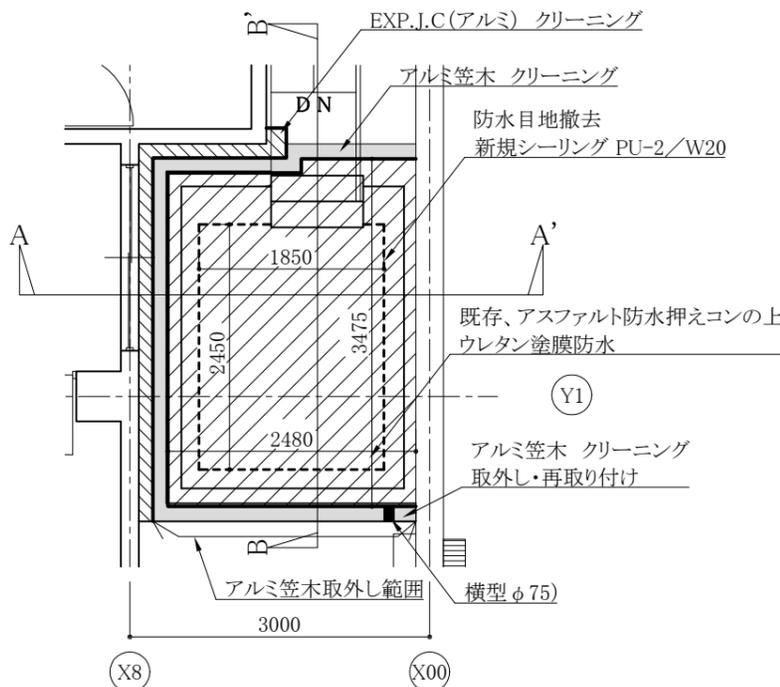


段差部 B-B'断面
参考納まり図 1/10

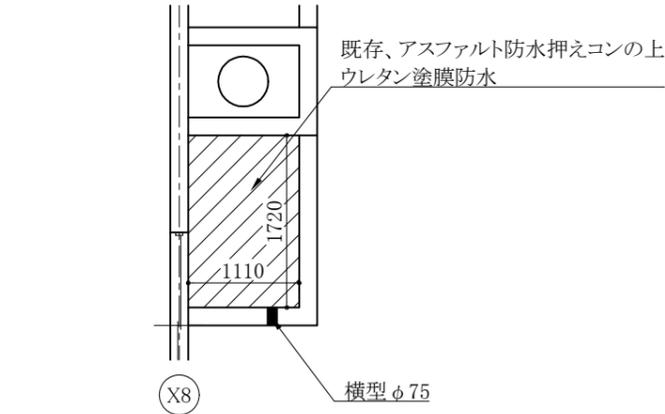


3F下屋断面図 1/30

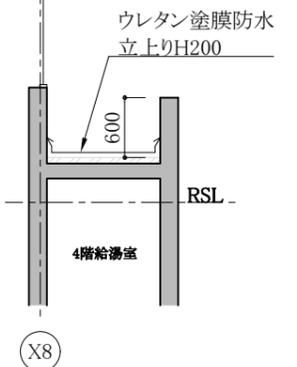
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	詳細図1	図番	7 / 31	縮尺	図示 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				



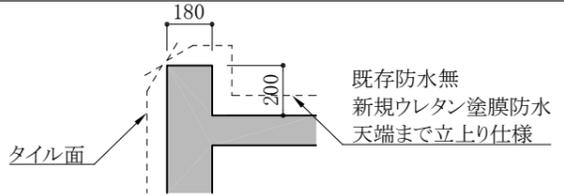
4F屋根平面図 1/50



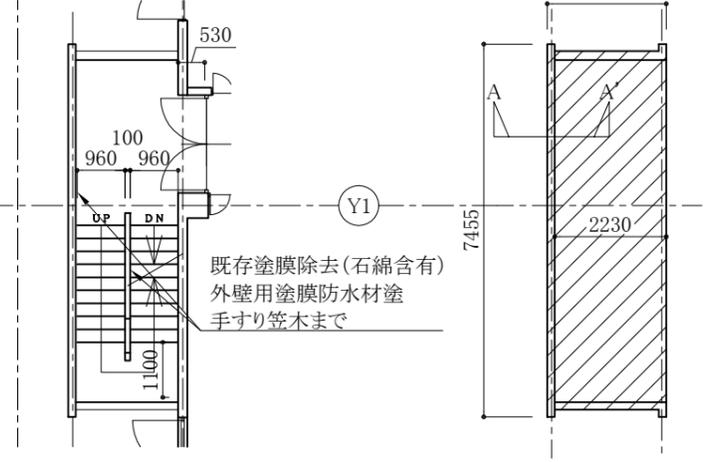
RFバルコニー平面図 1/50



RFバルコニー断面図 1/50



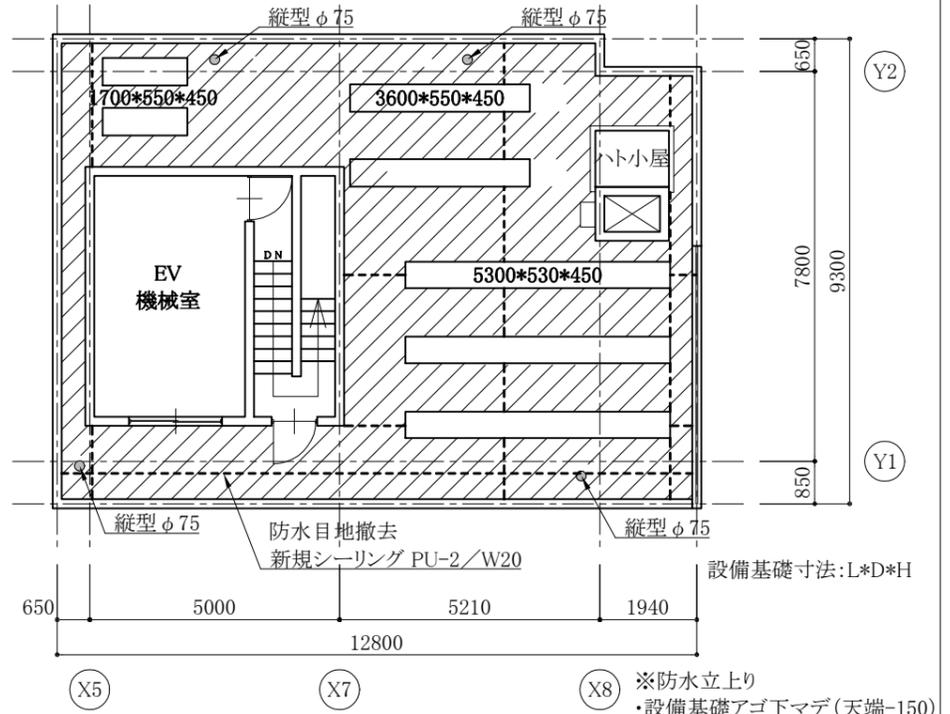
A-A'断面図 1/20



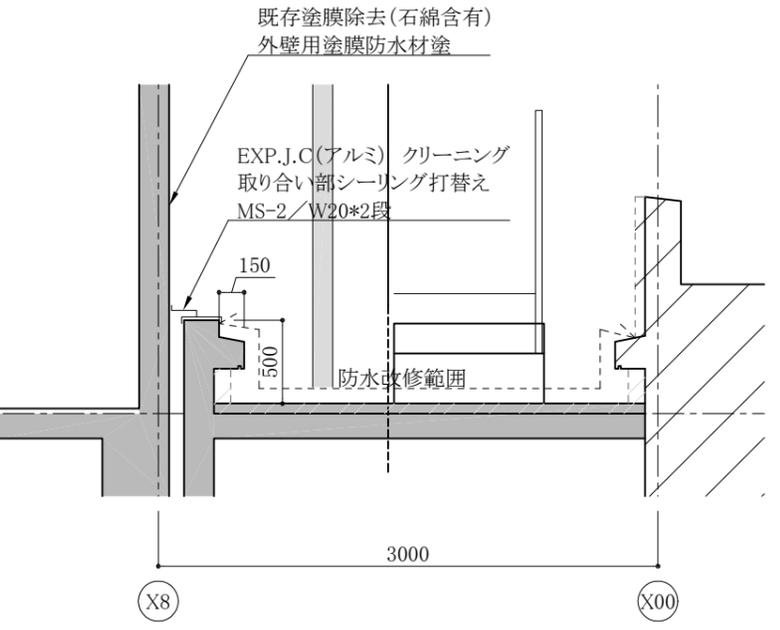
屋外階段 平面図 1/100

屋外階段 屋根伏図 1/100

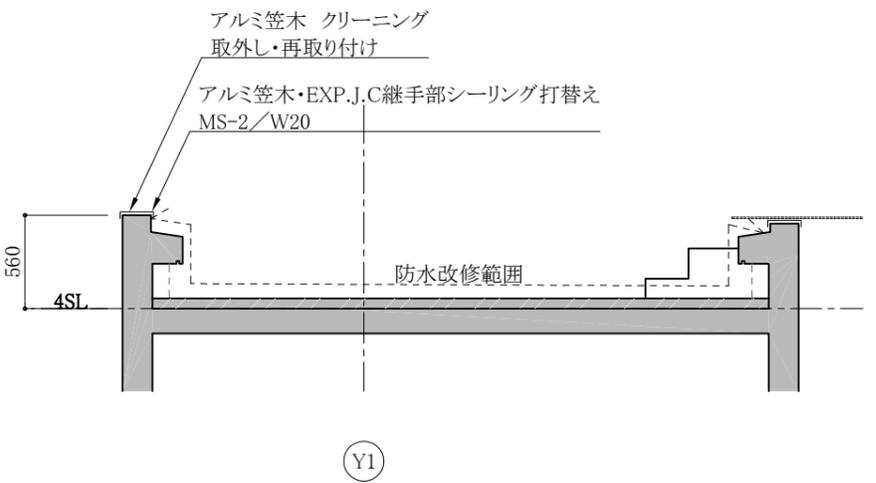
※ウレタン塗膜防水(配管基礎)
 (300*150*150)*6個 (400*150*150)*10個 (500*150*150)*2個
 (650*150*150)*1個 (850*150*150)*1個 (L*D*H)*個数
 天端まで立上り仕様



PHF平面図 1/100

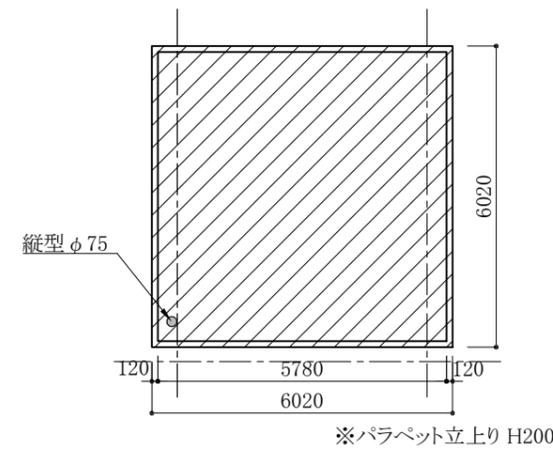
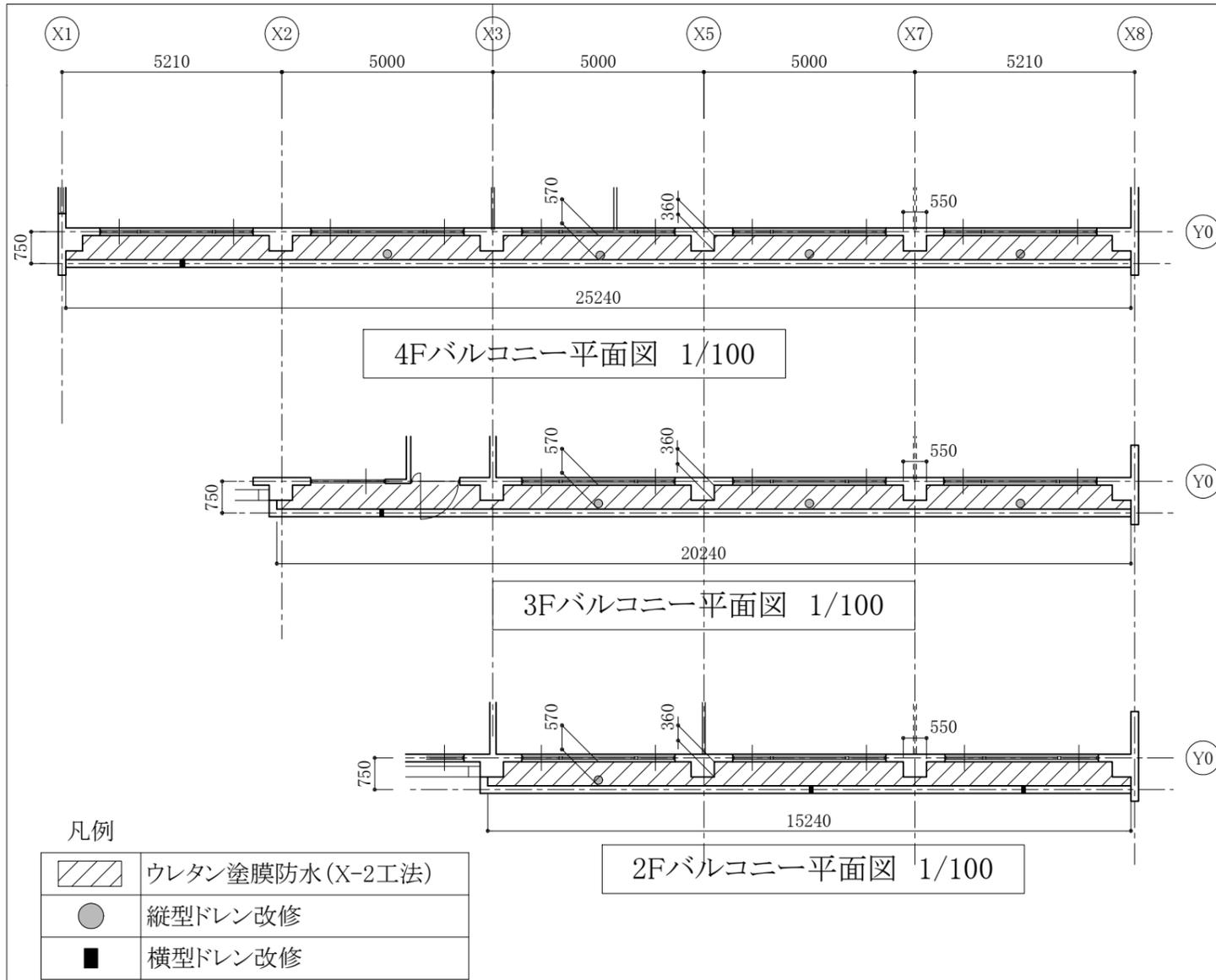


A-A'断面図 1/30

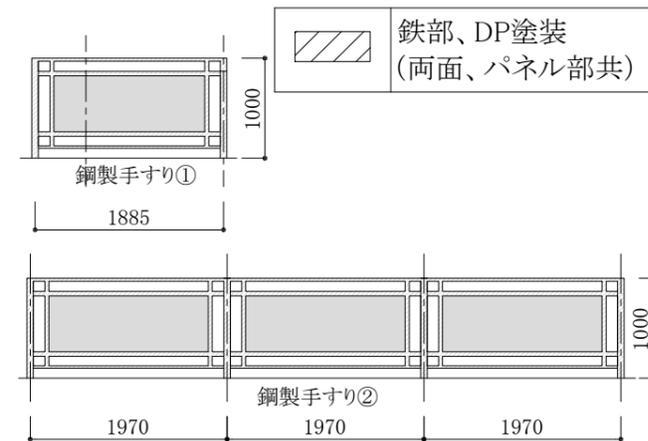


B-B'断面図 1/30

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	詳細図2	図番	8 / 31	縮尺	図示 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				

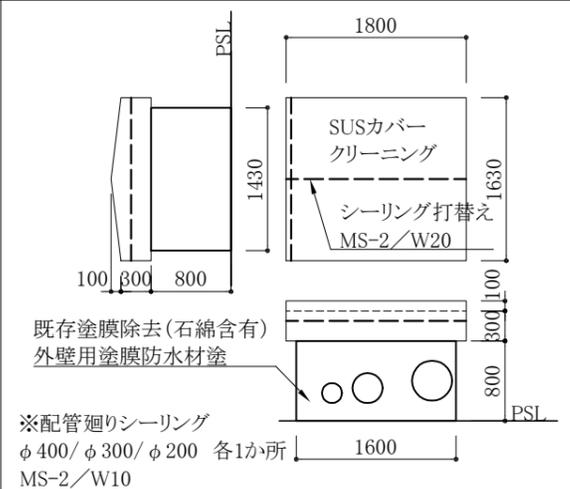
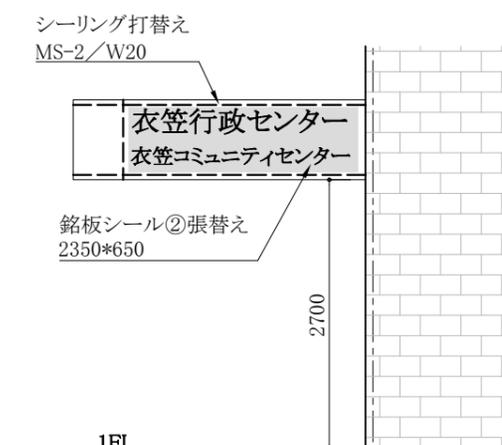
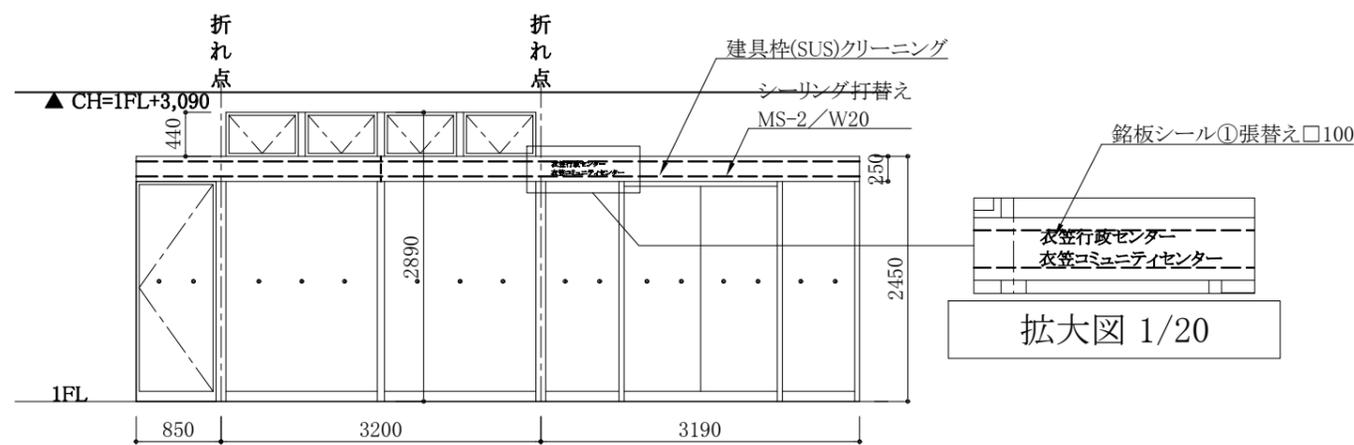
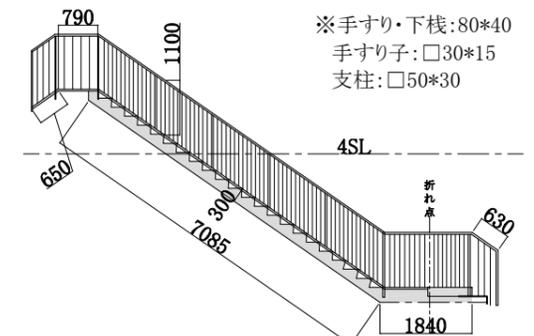
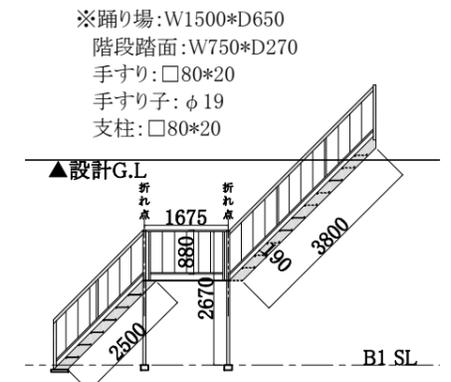


PH屋根伏図 1/100



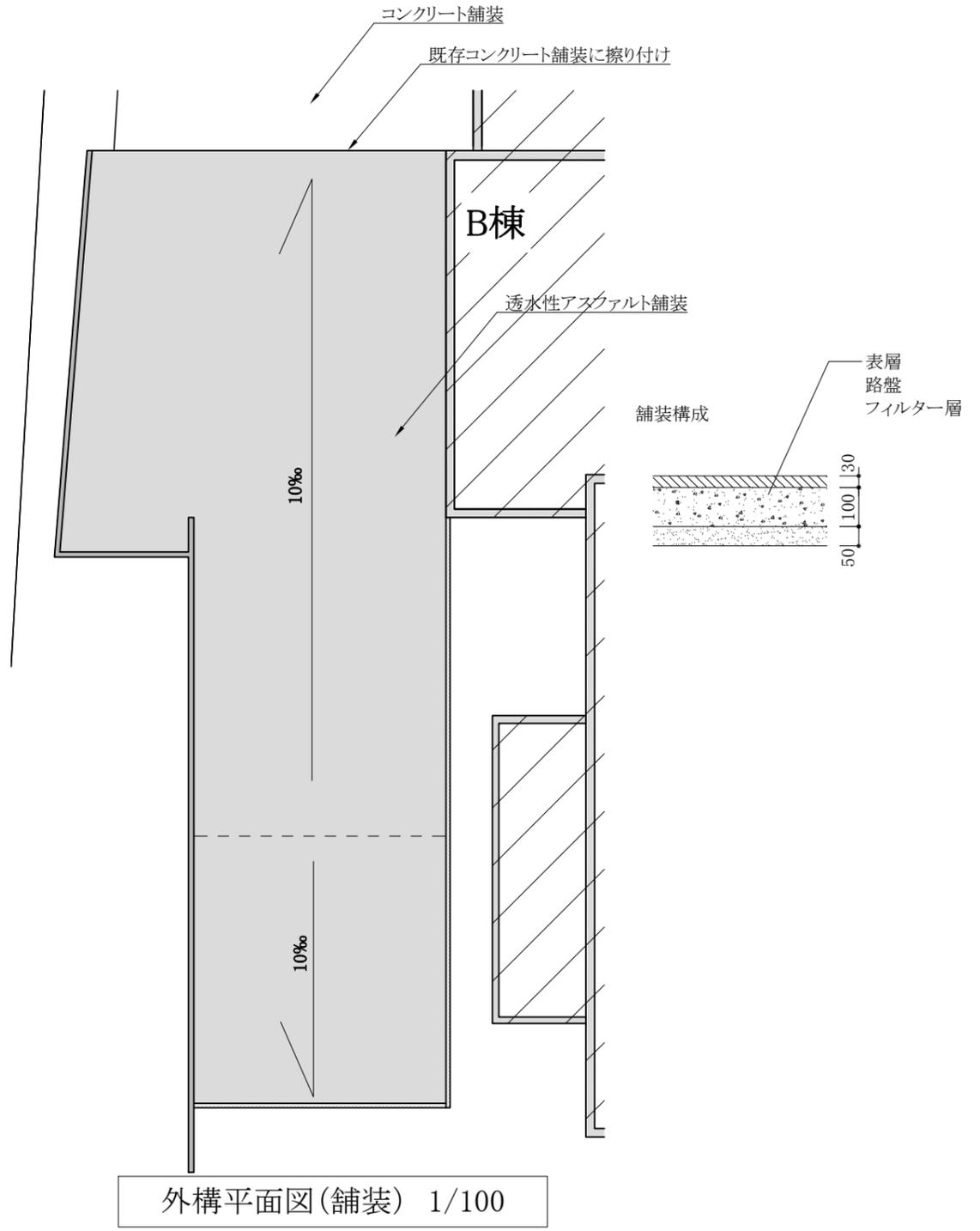
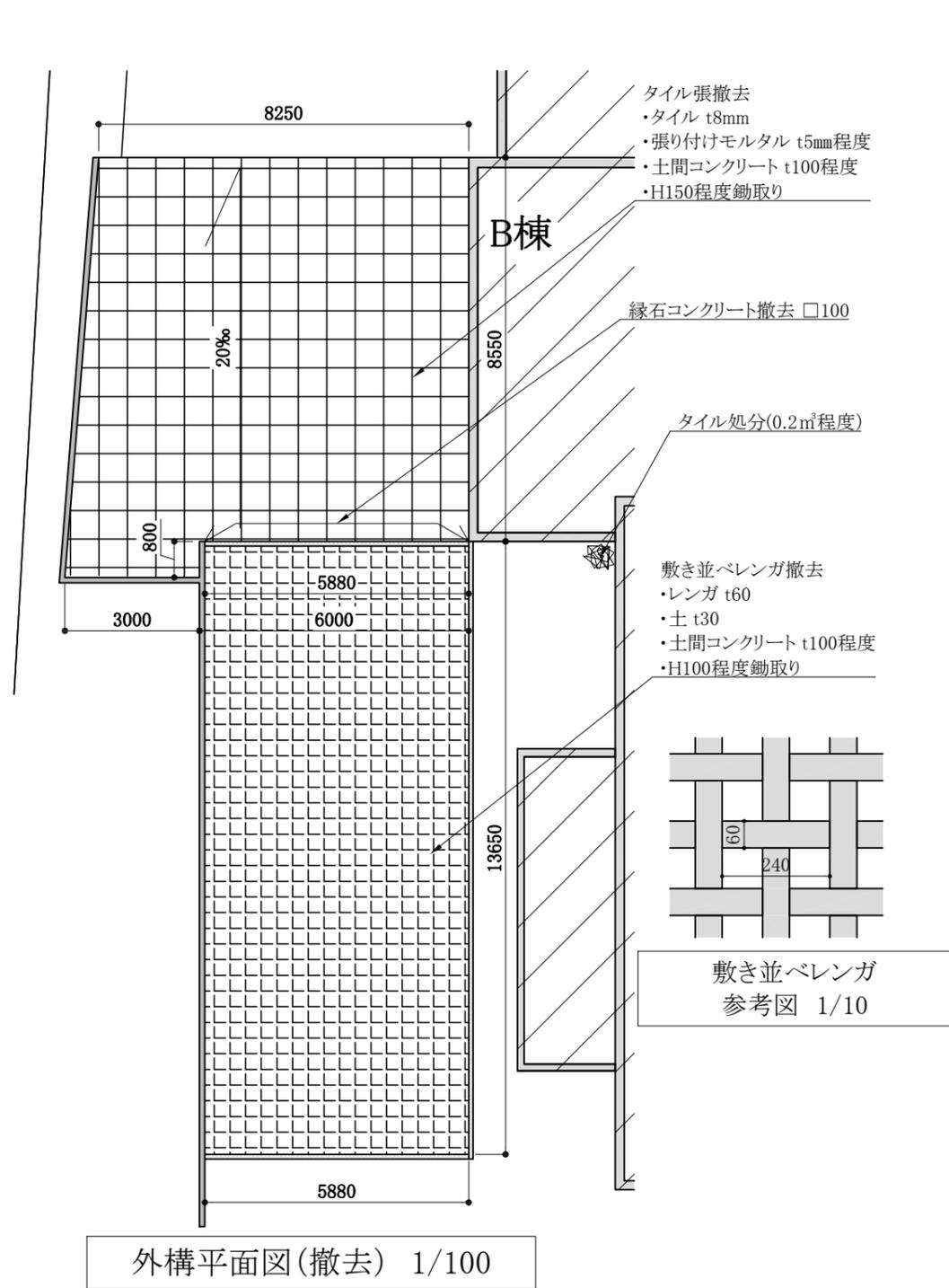
鋼製手すり姿図 1/50

鉄骨階段:DP塗装
手すり、手すり子、ササラ桁、支柱、踊り場等

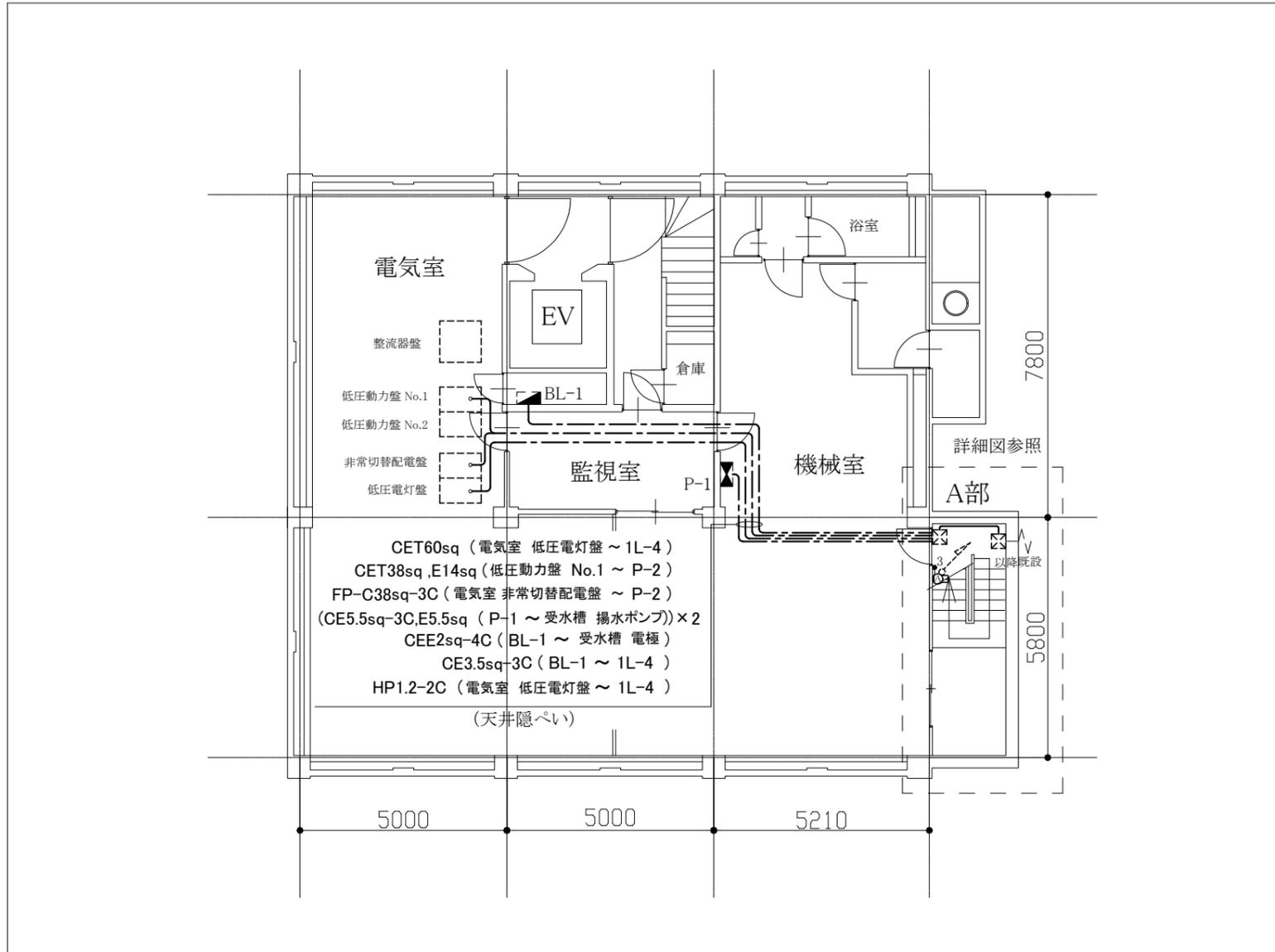


工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者
図面名称	詳細図3	図番	9 / 31	縮尺	1/50 1/100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日			

横須賀市
都市部 建築計画課



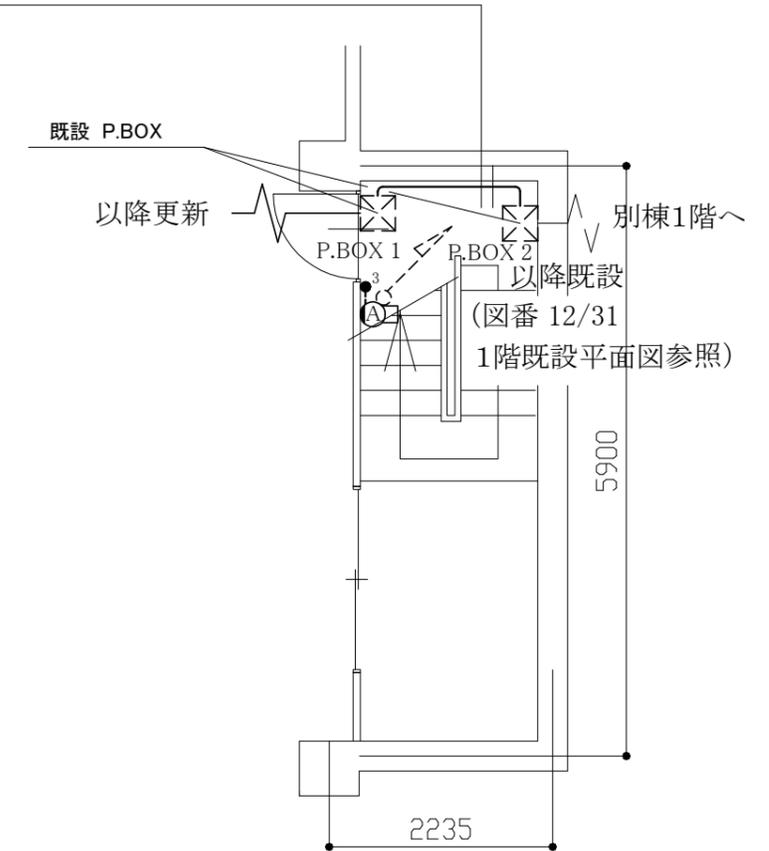
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格 氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	外構平面図	図番	10 / 31	縮尺	1/10 1/100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				



B1階 電気改修図 1/100

A部 ※1

- 既設 IV60sq×3 (G54) (電気室 低圧電灯盤 ~ 1L-4)
- 既設 IV38sq×3,E14sq (G54) (低圧動力盤 No.1 ~ P-2)
- 既設 FP38sq-3C (G54) (電気室 非常切替配電盤 ~ P-2)
(既設 PV22) (東京電力 検針用)
- 既設 CV5.5sq-3C,E5.5sq (G28) (P-1 ~ 受水槽 揚水ポンプ)
- 既設 CV5.5sq-3C,E5.5sq (G28) (P-1 ~ 受水槽 揚水ポンプ)
- 既設 CVV2sq-4C (G22) (BL-1 ~ 受水槽 電極)
- 既設 IV2.0×3 (G22) (BL-1 ~ 1L-4)
- 既設 HP1.2-2C (G22) (電気室 電灯盤 ~ 1L-4)



B1階 A部 詳細図 1/50

凡例

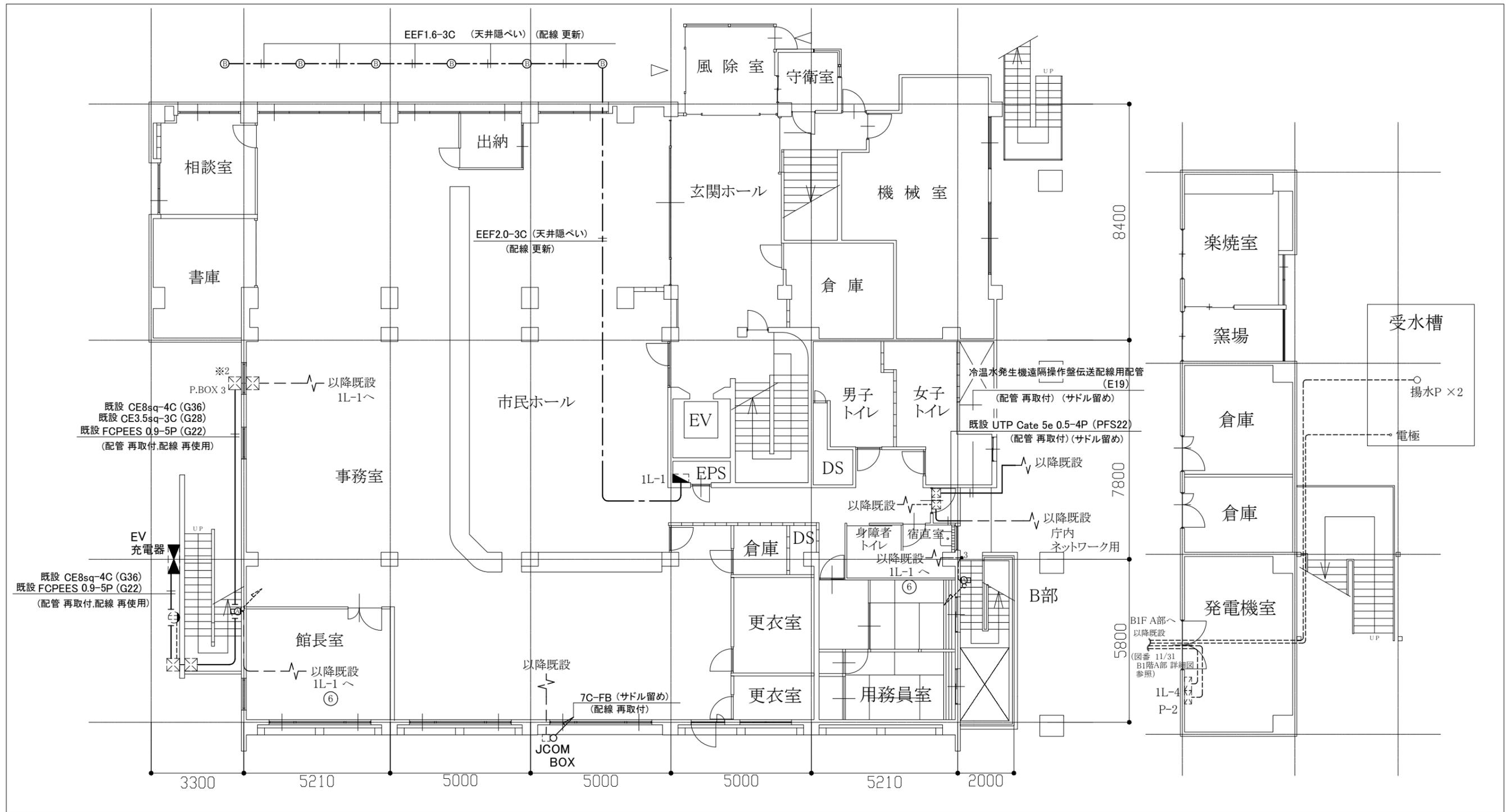
図中特記無き記号は以下の通り

- Ⓐ 新規 照明器具 A ブラケット SUS 防湿型・防雨型
プラスチック製台座込 (公共施設型番 LBF3MP/RP-2-13)
- ₃ 新規 タンブラスイッチ 3W 15A×1 (防雨型)
- _{BL-1} 既設 電灯分電盤 (BL-1)
- _{P-1} 既設 動力分電盤 (P-1)
- _{既設} 既設 プルボックス
- — — 既設 配線

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 新規屋外配管を敷設する場合は、厚鋼電線管 溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とする。
3. 屋外配管の取付金物、アンカー・ビス等はステンレス製とする。
4. ※1 配管配線について
 - (1) 外壁塗装前に、P.BOX 1 内で 配線を切断し、既設配管撤去後、仮設配線及び仮設配管 (FEP等)で保護し、外壁塗装時にも機器等が使用できる用にする。
 - (2) 外壁塗装終了後は、配線を「低圧動力盤 No.1」「低圧電灯盤」「BL-1盤」及び「P-1盤」から切断した P.BOX 1まで新規に引き直すものとする。
 - (3) P.BOX間の配管は、更新するものとする。
5. 電気主任技術者の立会い費用は、別途、民生局地域支援部 衣笠行政センターの支払いとする。

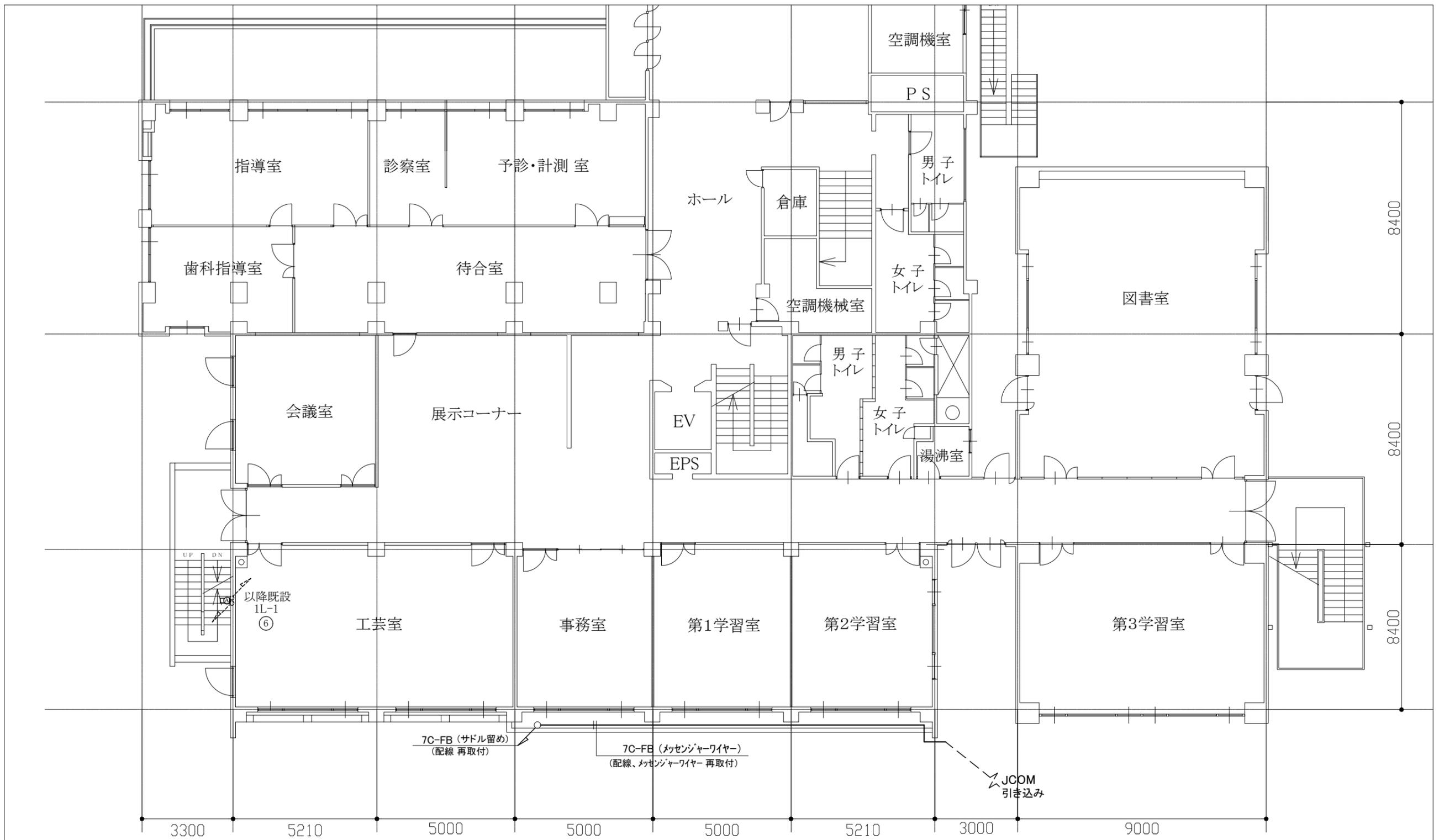
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	B1階 電気改修図、詳細図	図番	11/31	縮尺	1:100, 50 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				



1階 電気改修、再取付図 1/100

- 凡例**
- 図中特記無き記号は以下の通り
- ① 新規 照明器具 A ブラケット SUS 防湿型・防雨型
プラスチック製台座込 (公共型番 LBF3MP/RP-2-13)
 - ② 新規 照明器具 B LED ダウンライト 昼白色 屋外用
公共型番 LRS1RP-08
 - ₃ 新規 タンブラスイッチ 3W 15A×1 (防雨型)
 - IL-1 既設 電灯分電盤 (1L-1)
 - ☐ 既設 プルボックス
 - 既設 コンセント
 - — 既設 配線
- 改修**
- 電灯分電盤 (1L-1) 改修
 - 軒下ダウンライト用 ELB 2P 50AF/20AT 30mA 取付 ⑫
 - タイムスイッチ 2P 協約型 1個 取付
(週間式) ソーラータイマー 1回路型 停電保障付
- 注記**
- 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
 - 新規屋外配管を敷設する場合は、厚鋼電線管 溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とする。
 - 屋外配管の取付金物、アンカー・ビス等はステンレス製とする。
 - 再取付とは、配管や器具等を壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態から、工事前の状態に戻すことをいう。
 - ※2 配線については、
(1) 外壁塗装後は、EV充電器から接続を外し、配管を再取付し、復旧させるものとする。

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	1階 電気改修、再取付図、既設平面図	図番	12/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



凡例

図中特記なき記号は以下の通り

- 
 新規 照明器具 A ブラケット SUS 防湿型・防雨型
 プラスチック製台座込 (公共型番 LBF3MP/RP-2-13)

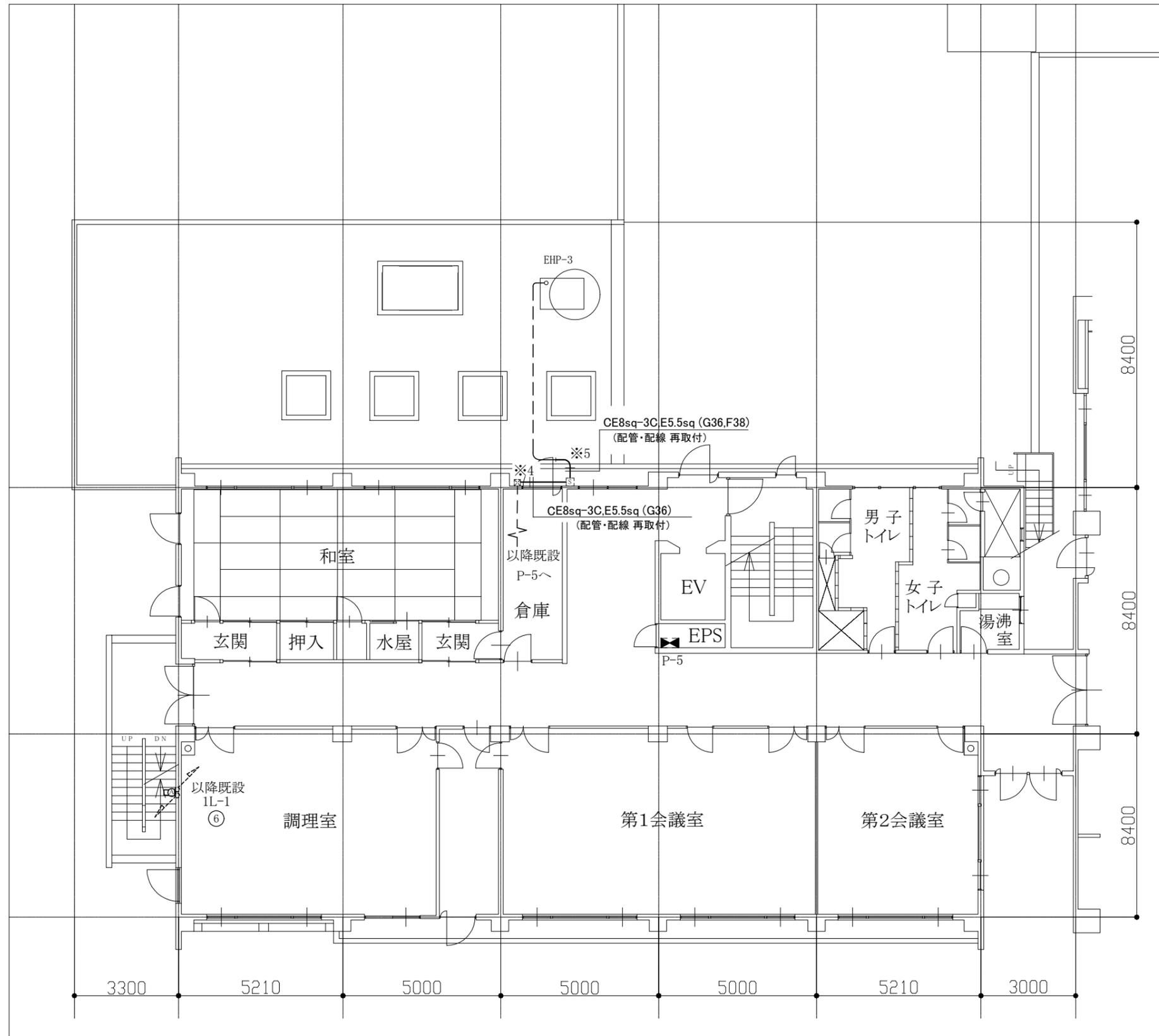
--- 既設 配線

2階 電気改修、再取付図 1/100

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 新規屋外配管を敷設する場合は、厚鋼電線管 溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とする。
3. 屋外配管の取付金物、アンカー・ビス等はステンレス製とする。
4. 再取付とは、配管や器具等を壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態から、工事前の状態に戻すことをいう。

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	2階 電気改修、再取付図	図番	13/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



凡例

図中特記無き記号は以下の通り

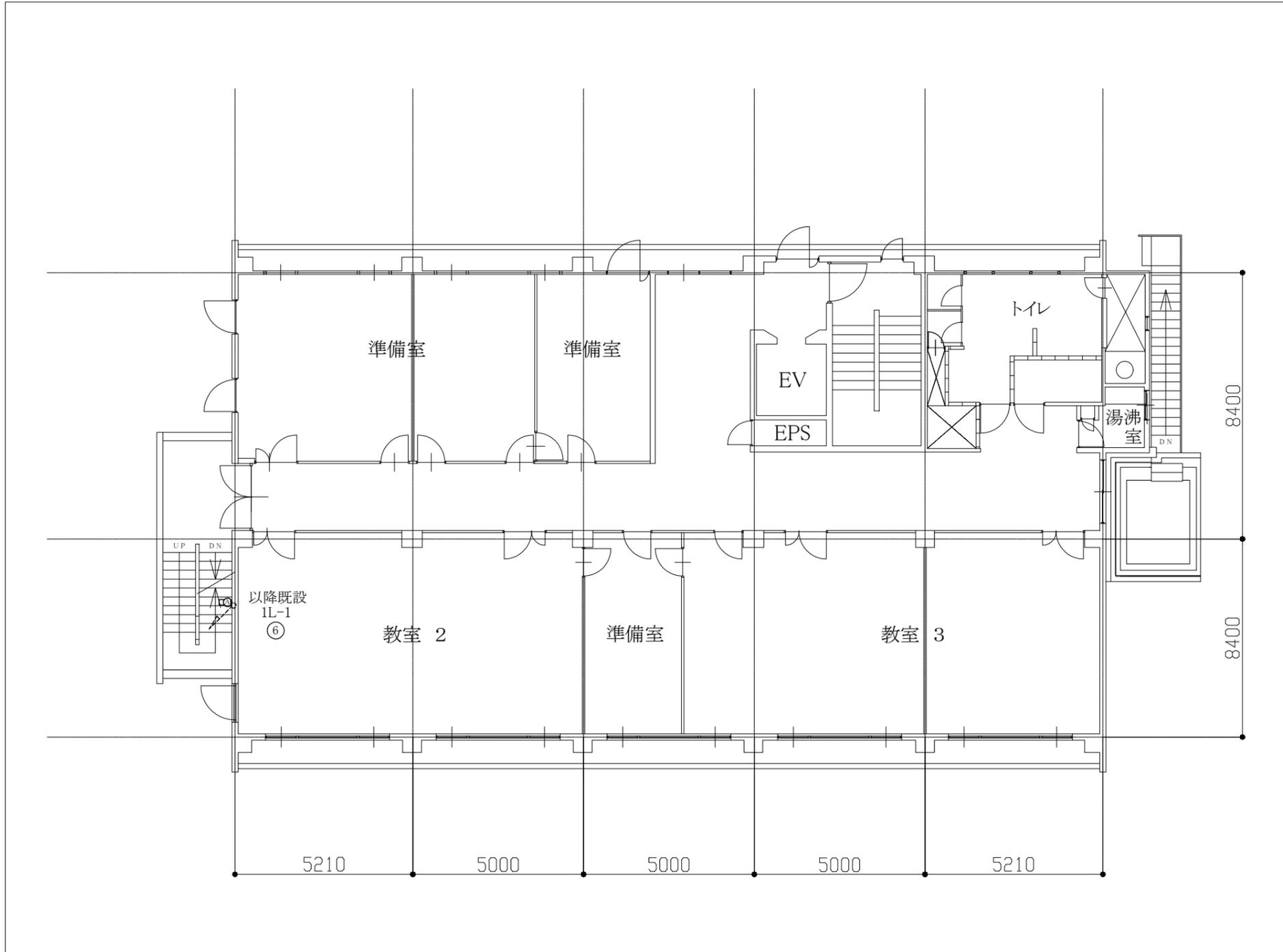
- 既設 動力分電盤 (P-5)
- 新規 照明器具 A ブラケット SUS 防湿型・防雨型
プラスチック製台座込 (公共型番 LBF3MP/RP-2-13)
- 既設 プルボックス
- 既設 空調開閉器盤
- 既設 配線

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 新規屋外配管を敷設する場合は、厚鋼電線管 溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とする。
3. 屋外配管の取付金物、アンカー・ビス等はステンレス製とする。
4. 再取付とは、配管や器具等を壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態から、工事前の状態に戻すことをいう。
5. ※4 の配管配線は、外壁塗装完了後は、仮設配管 (FEP) を撤去し、既設配管で保護して復旧するものとする。
6. ※5 の配管配線は、外壁塗装完了後は、仮設配管 (FEP) を撤去し、既設配管で保護して復旧するものとする。

3階 電気改修、再取付図 1/100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	3階 電気改修、再取付図	図番	14/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



凡例

図中特記無き記号は以下の通り

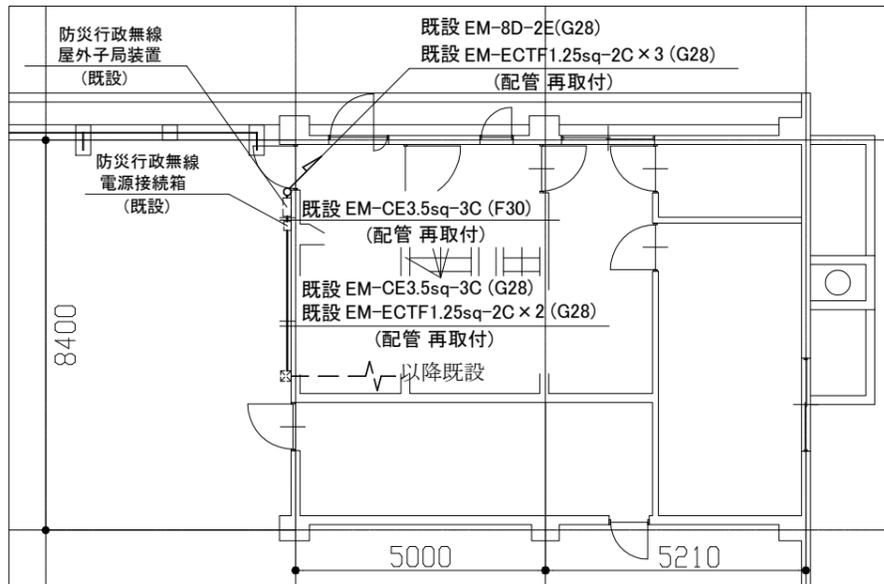
- A
 新規 照明器具 A ブラケット SUS 防湿型・防雨型
 プラスチック製台座込 (公共型番 LBF3MP/RP-2-13)
- 既設 配線

注記

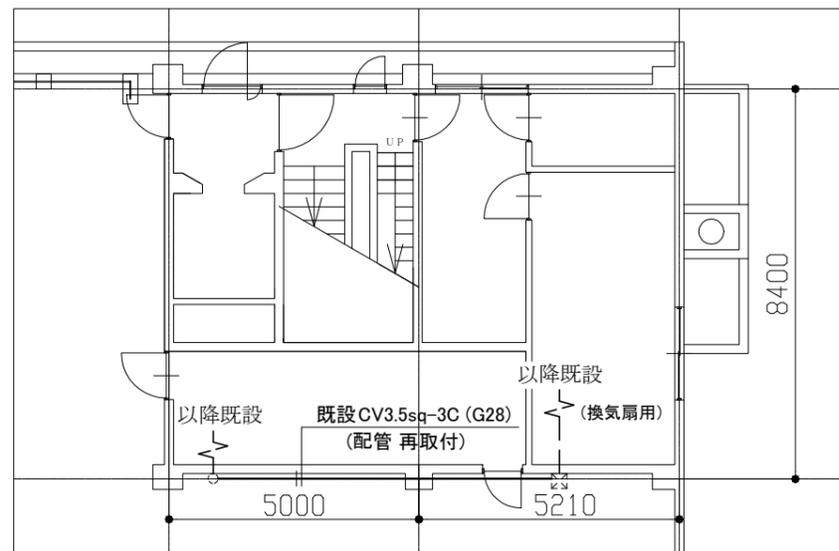
1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 新規屋外配管を敷設する場合は、厚鋼電線管 溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とする。
3. 屋外配管の取付金物、アンカー・ビス等はステンレス製とする。

4階 電気改修図 1/100

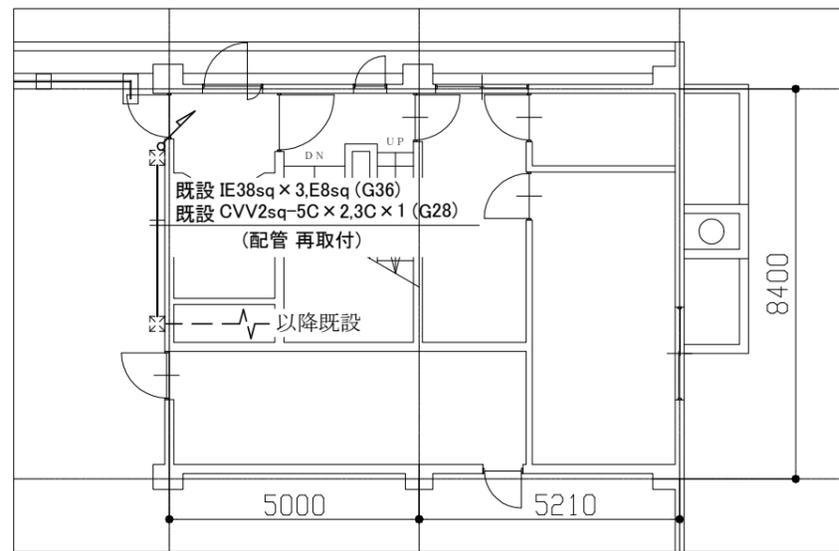
工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	4階 電気改修図	図番	15/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				



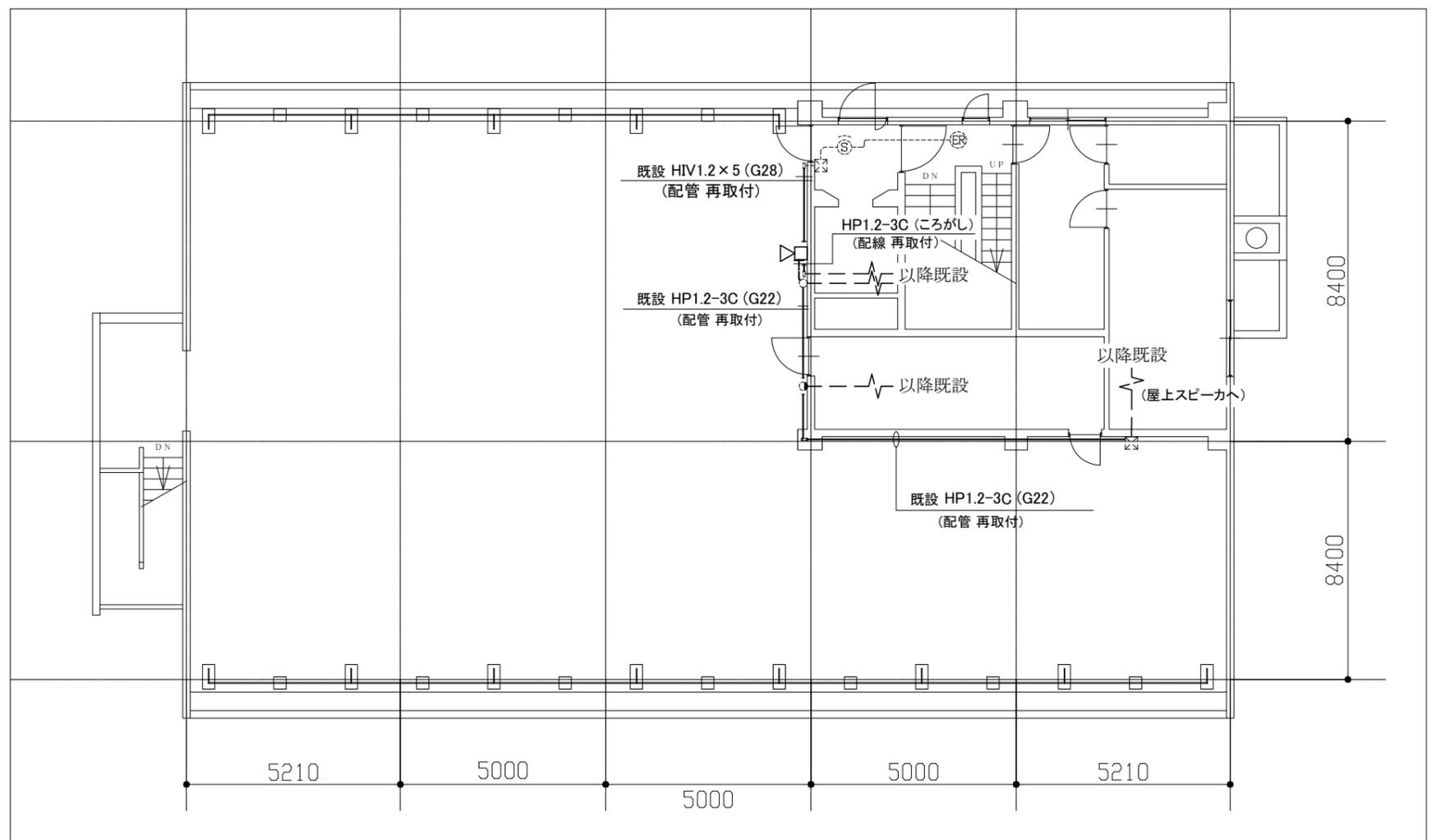
RF 電気再取付図 3 (防災行政無線) 1/100



RF 電気再取付図 2 (換気扇用) 1/100



RF 電気再取付図 1 (空調設備) 1/100



RF 電気改修、再取付図 4 (弱电設備) 1/100

凡例

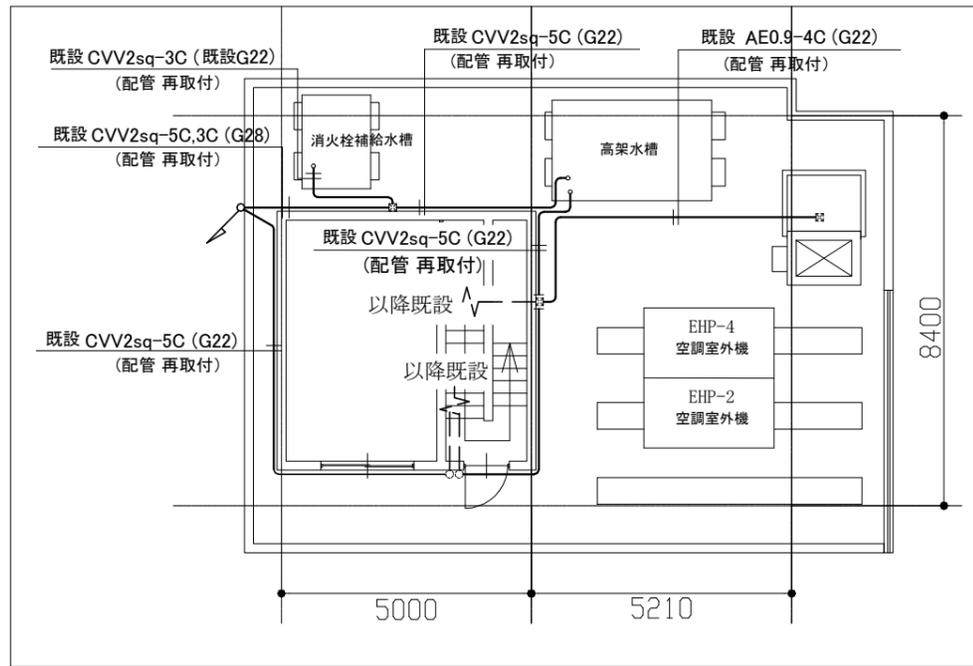
図中特記無き記号は以下の通り

-  新規 ホーンスピーカー 屋外 壁掛 5W
-  既設 赤色表示灯
-  既設 プルボックス
-  既設 ユニバーサル
-  既設 丸型露出ボックス
-  既設 光電式煙感知器 3種
-  既設 自動閉鎖装置
-  既設 配線

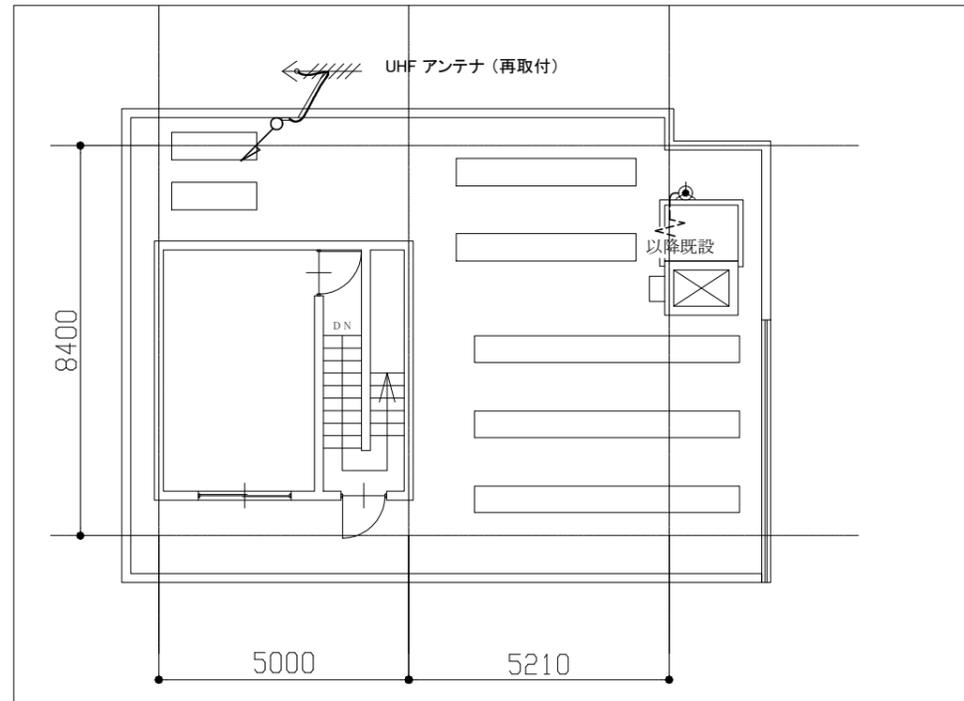
注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 新規屋外配管を敷設する場合は、厚鋼電線管 溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とする。
3. 屋外配管の取付金物、アンカー・ビス等はステンレス製とする。
4. 再取付とは、配管や器具等を壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態から、工事前の状態に戻すことをいう。
5. 防災行政無線関係の工事部分(スピーカー、空中線、配管配線等)については、設置業者(東芝インフラシステムズ(株))が取外し、再取付施工を行い、復旧後、消防局庁舎親機から機能確認を行うものとする。(本工事)

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	RF 電気改修、再取付図	図番	16/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				



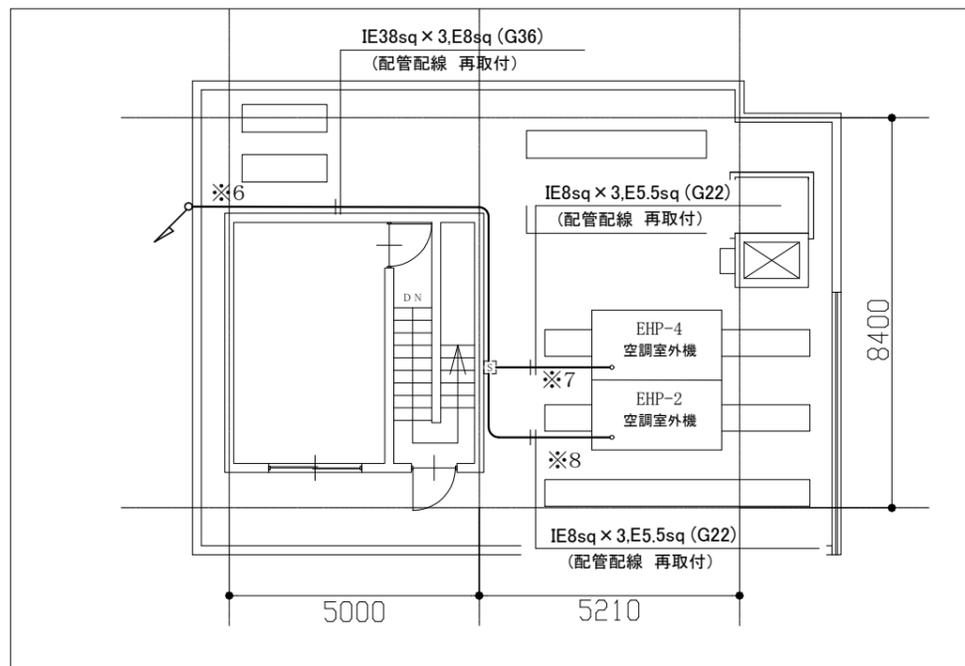
RHF 電気改修、再取付図 2 1/100



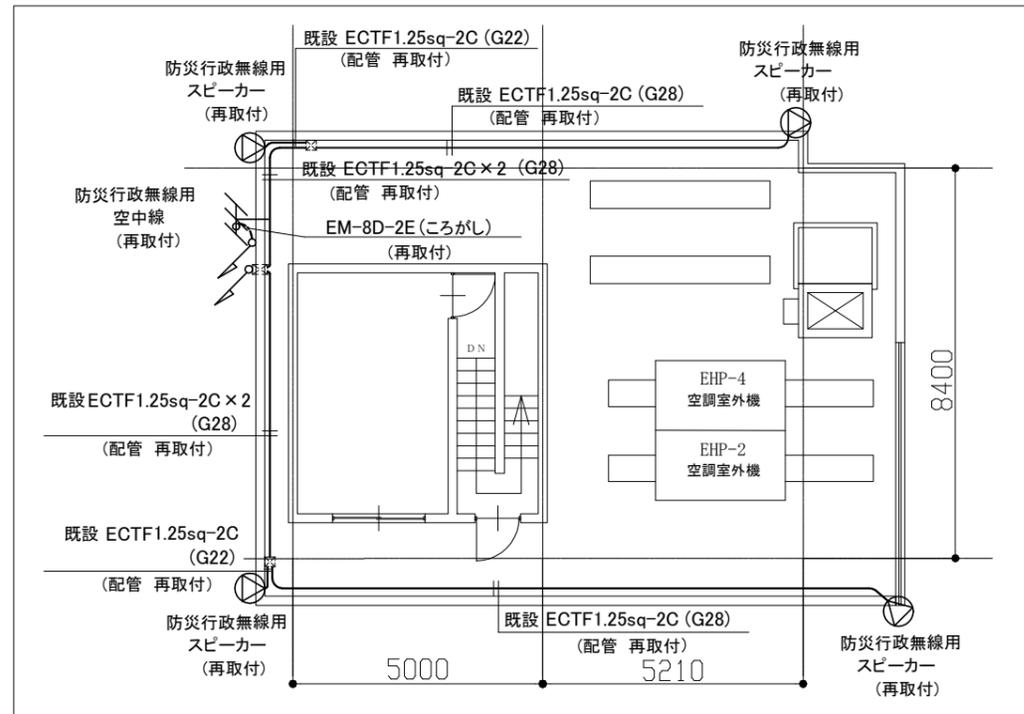
RHF 電気改修、再取付図 4 (弱電設備) 1/100

凡例

- 図中特記無き記号は以下の通り
- 新規 避雷針
 - 側壁形 LR-1 SUS-6
 - 再取付 防災行政無線用スピーカー
 - レフレックスホーンスピーカー 60W
 - 既設 空調開閉器盤
 - 既設 プルボックス
 - 既設 プルボックス
 - 既設 配線



RHF 電気再取付図 1 (空調設備) 1/100

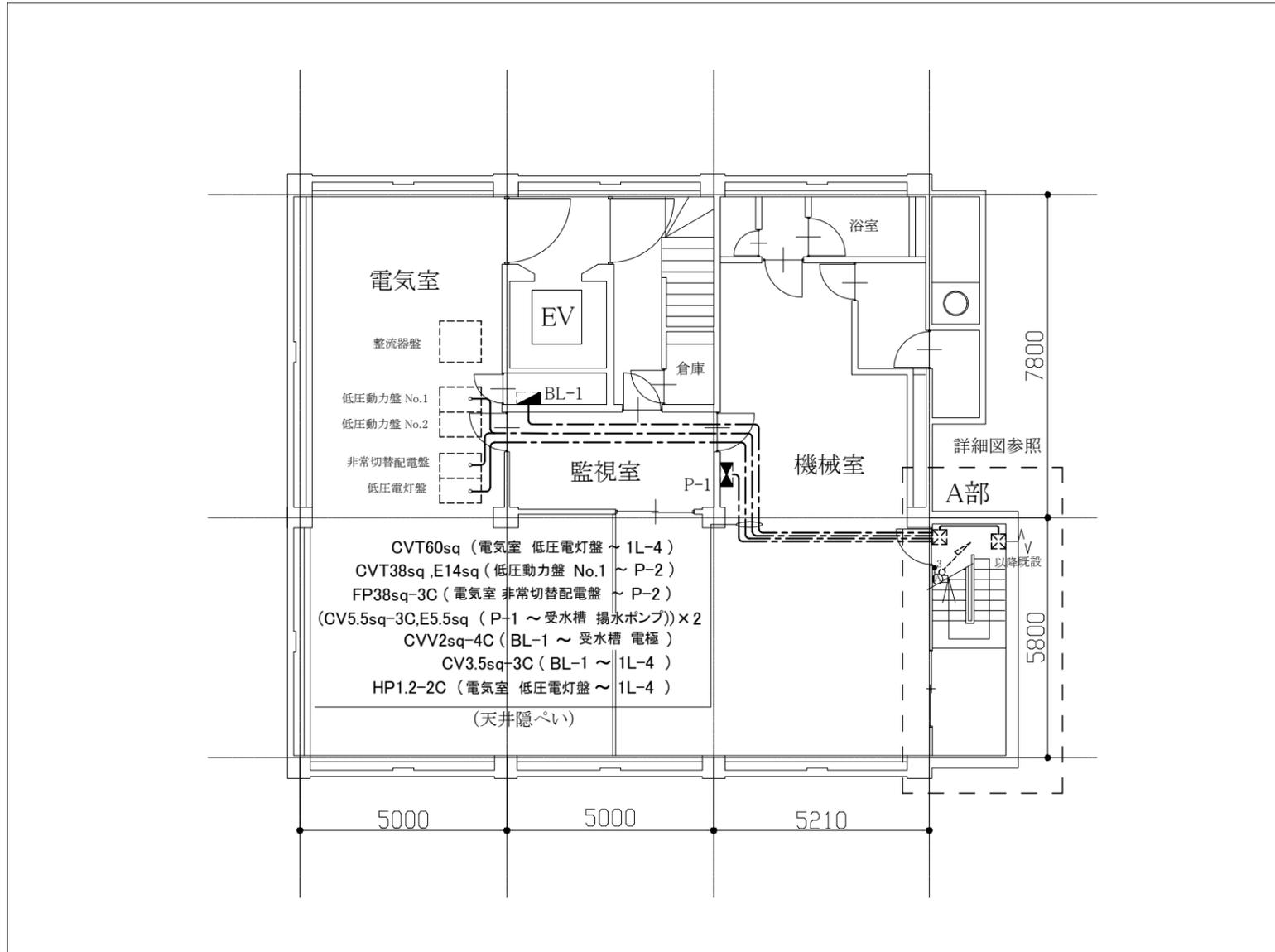


RHF 電気再取付図 3 (防災行政無線) 1/100

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 新規屋外配管を敷設する場合は、厚鋼電線管 溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とする。
3. 屋外配管の取付金物、アンカー・ビス等はステンレス製とする。
4. 再取付とは、配管や器具等を壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態から、工事前の状態に戻すことをいう。
5. 防災行政無線関係の工事部分(スピーカー、空中線、配管配線等)については、設置業者(東芝インフラシステムズ(株))が取外し、再取付施工を行い、復旧後、消防局庁舎親機から機能確認を行うものとする。(本工事)
6. ※6 の配管配線は、外壁塗装完了後は、仮設配管を撤去し、既設配管で保護して復旧するものとする。
7. ※7,8 の配管配線は、外壁塗装完了後は、仮設配管を撤去し、既設配管で保護して復旧するものとする。
8. 避雷針については、避雷針のみ更新し、配線は既設を使用するものとする。

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	RHF 電気改修、再取付図	図番	17/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				



B1階 電気撤去図 1/100

凡例

図中特記無き記号は以下の通り

Ⓐ 撤去 照明器具 A ブラケット FL20W相当

●₃ 撤去 タンブラススイッチ 3W 15A×1 WP

■_{BL-1} 既設 電灯分電盤 (BL-1)

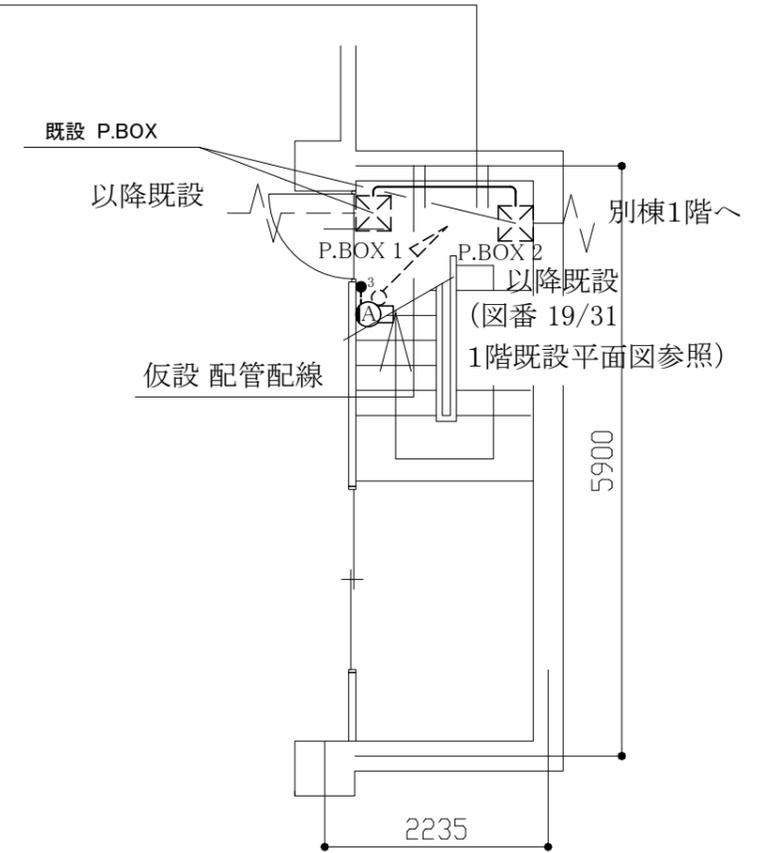
■_{P-1} 既設 動力分電盤 (P-1)

□ 既設 プルボックス

— — — 既設 配線

A部 ※1

- 既設 IV60sq×3 (G54) (電気室 低圧電灯盤 ~1L-4)
- 既設 IV38sq×3, E14sq (G54) (電気室 低圧動力盤 No.1~P-2)
- 既設 FP38sq-3C (G54) (電気室 非常切替配電盤 ~ P-2)
- (既設 PV22) (東京電力 検針用)
- 既設 CV5.5sq-3C, E5.5sq (G28) (P-1 ~ 受水槽 揚水ポンプ)
- 既設 CV5.5sq-3C, E5.5sq (G28) (P-1 ~ 受水槽 揚水ポンプ)
- 既設 CVV2sq-4C (G22) (BL-1 ~ 受水槽 電極)
- 既設 IV2.0×3 (G22) (BL-1 ~ 1L-4)
- 既設 HP1.2-2C (G22) (電気室 低圧電灯盤 ~ 1L-4)

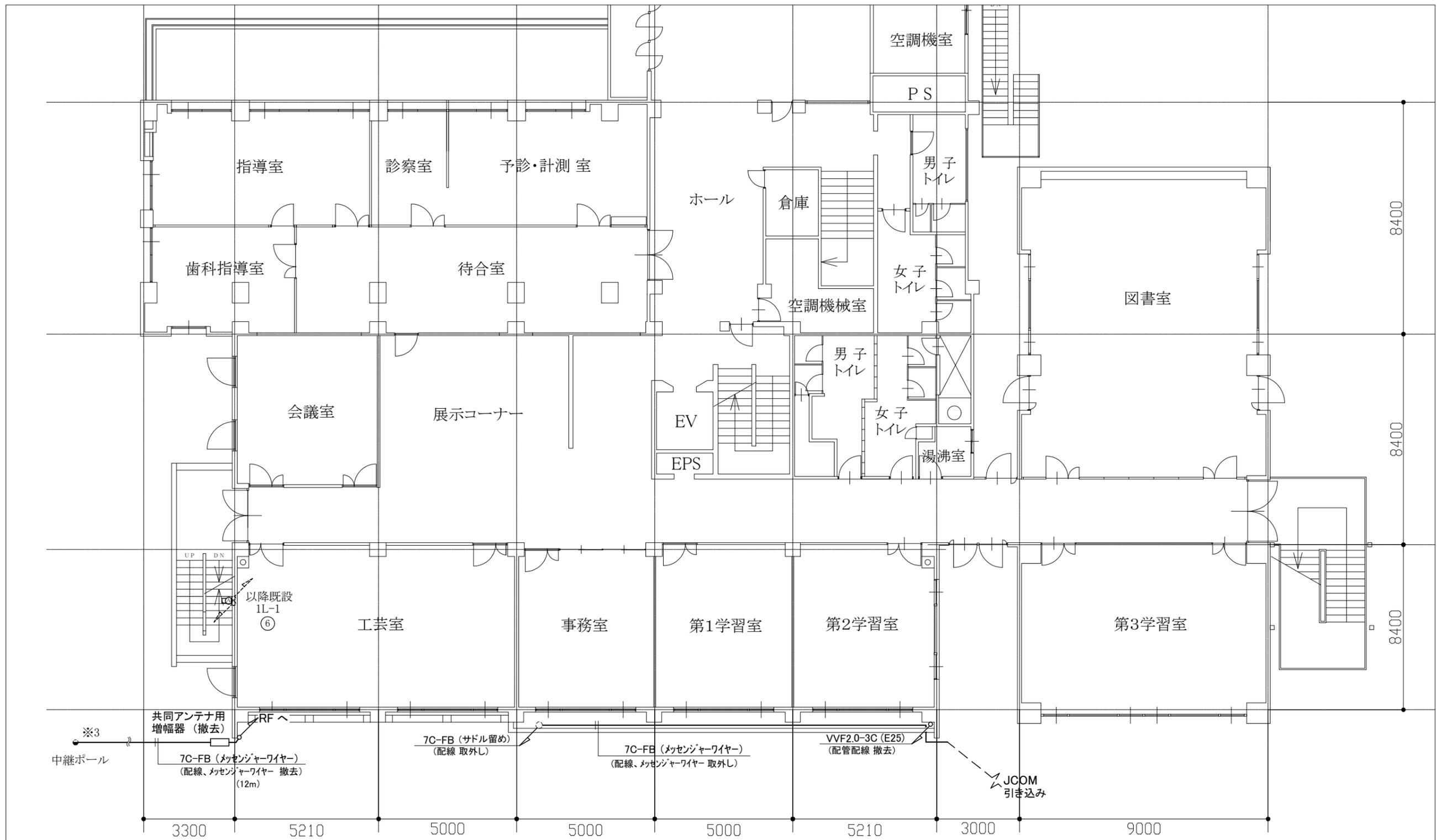


B1階 A部 詳細図 1/50

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 不要な配管、配線、器具類等は、撤去処分とする。
ただし、既設の埋設配管等は、残置とする。
3. 器具等の撤去跡がある場合は、補修を施すものとする。
4. ※1 配管配線について
 - (1) 外壁塗装前に、P.BOX 1 内で 配線を切断し、既設配管撤去後、仮設配線及び仮設配管(FEP等)で保護し、外壁塗装時にも機器等が使用できる用にする。
 - (2) 外壁塗装終了後は、配線を「低圧動力盤 No.1」「低圧電灯盤」「BL-1盤」及び「P-1盤」から切断した P.BOX 1 まで新規に引き直すものとする。
 - (3) P.BOX間の配管は、更新するものとする。

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	B1階 電気撤去図、詳細図	図番	18/31	縮尺	1:100, 50 (A2)	作図	令和5年10月 日				



凡例

図中特記無き記号は以下の通り

Ⓐ 撤去 照明器具 A ブラケット FL20W相当

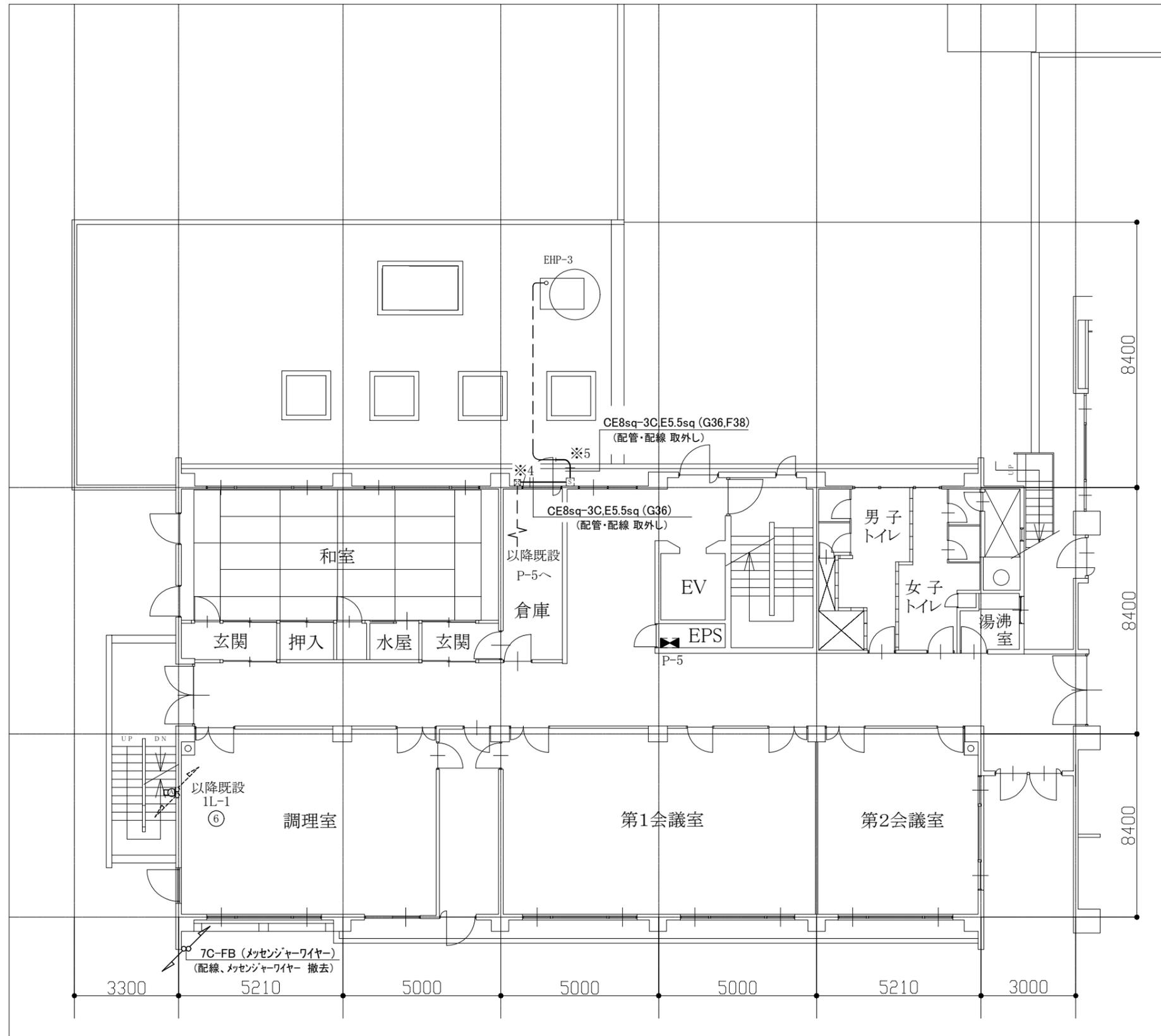
--- 既設 配線

2階 電気撤去、取外し図 1/100

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 不要な配管、配線、器具類等は、撤去処分とする。ただし、既設の埋設配管等は、残置とする。
3. 器具等の撤去跡がある場合は、補修を施すものとする。
4. 取外しとは、既設配管や既設器具等の支持金物を取り外し、壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態をいう。
5. ※3 部分 共同アンテナ用配線は、送信ポールで切断し、処分するものとする。切断後、残りの配線は、切断処理を施し、送信ポールに固定し残置とする。

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	2階 電気撤去、取外し図	図番	20/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和 5 年 10 月 日				



凡例

図中特記無き記号は以下の通り

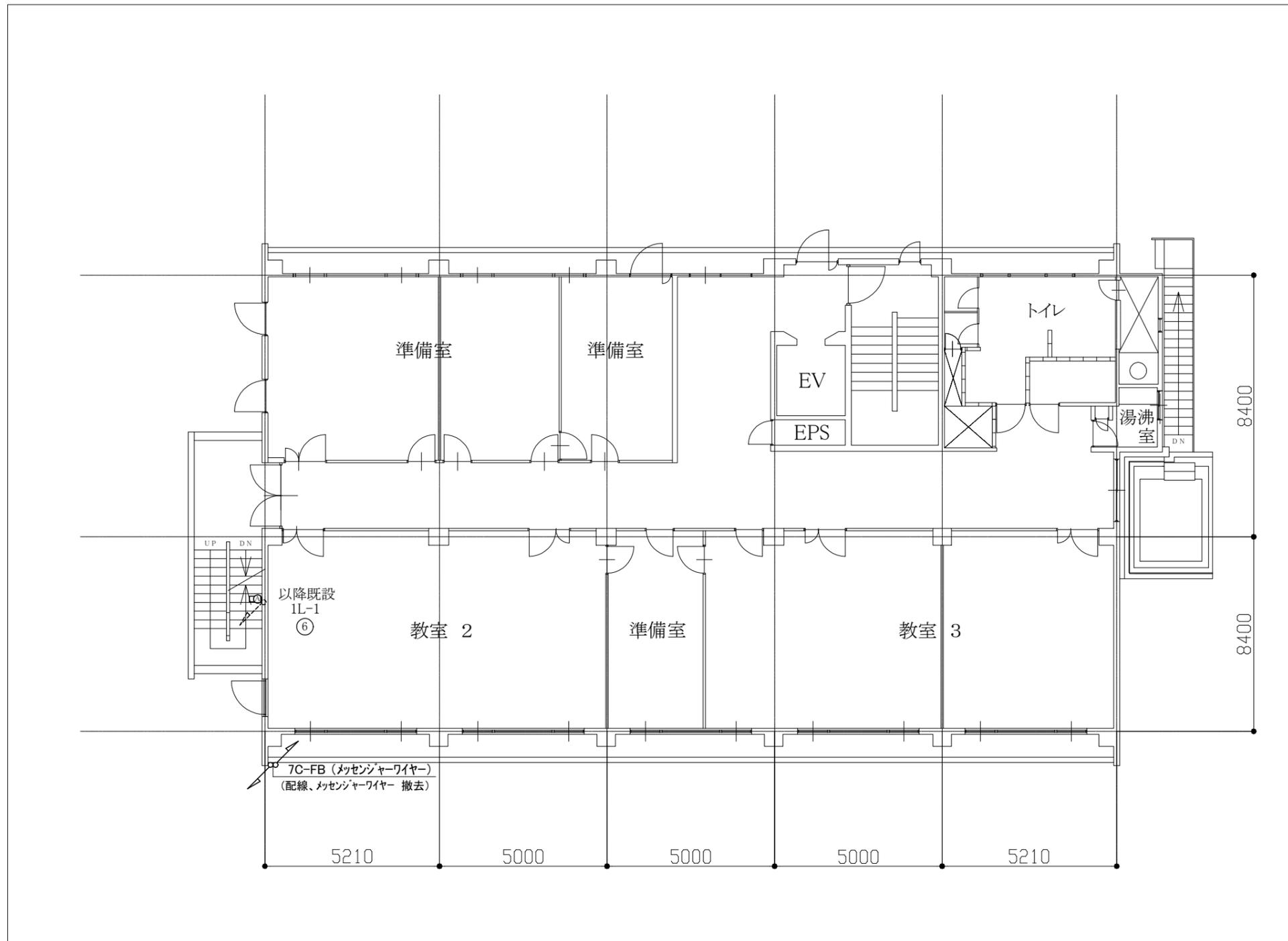
- P-5 既設 動力分電盤 (P-5)
- 撤去 照明器具 A ブラケット FL20W相当
- 既設 プルボックス
- 既設 空調開閉器盤
- 既設 配線

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 不要な配管、配線、器具類等は、撤去処分とする。
ただし、既設の埋設配管等は、残置とする。
3. 器具等の撤去跡がある場合は、補修を施すものとする。
4. 取外しとは、既設配管や既設器具等の支持金物を取り外し、壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態をいう。
5. ※4 の配管は、取外し、再取付。
配線は、外壁塗装前に P.BOX まで配線を引戻し、FEP管等で保護した後、既設空調開閉器盤の1次側に接続し、工事期間中も空調機(EHP-3)が使用できるものとする。
6. ※5 の配管は、取外し、再取付。
配線は、外壁塗装前にブリカチューブ部まで配線を引戻し、FEP管等で保護した後、空調機に接続し、工事期間中も空調機 (EHP-3) が使用できるものとする。

3階 電気撤去、取外し図 1/100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	3階 電気撤去、取外し図	図番	21/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



凡例

図中特記無き記号は以下の通り

Ⓐ 撤去 照明器具 A ブラケット FL20W相当

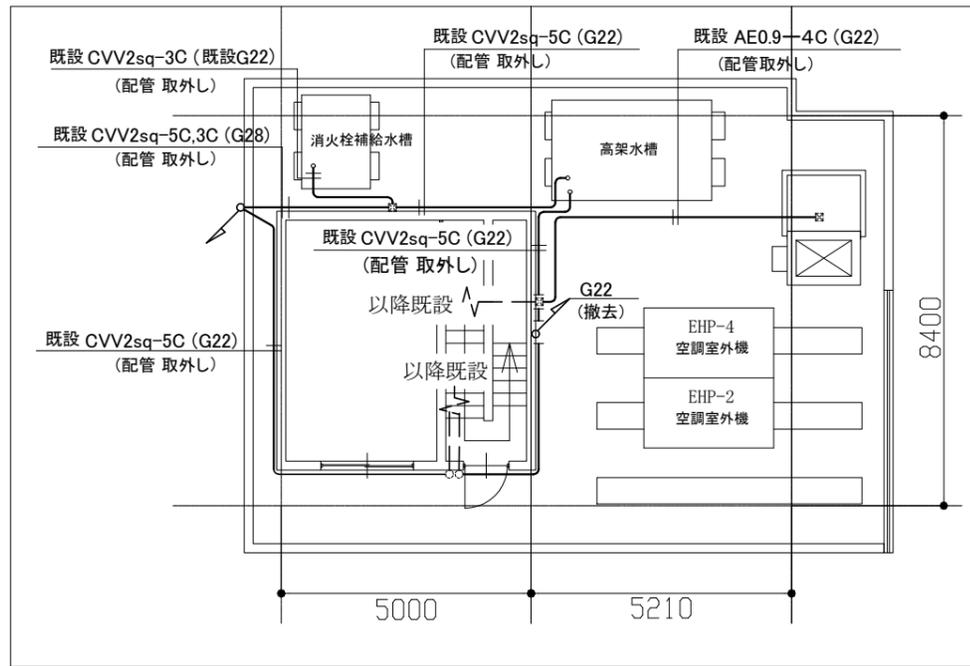
--- 既設 配線

注記

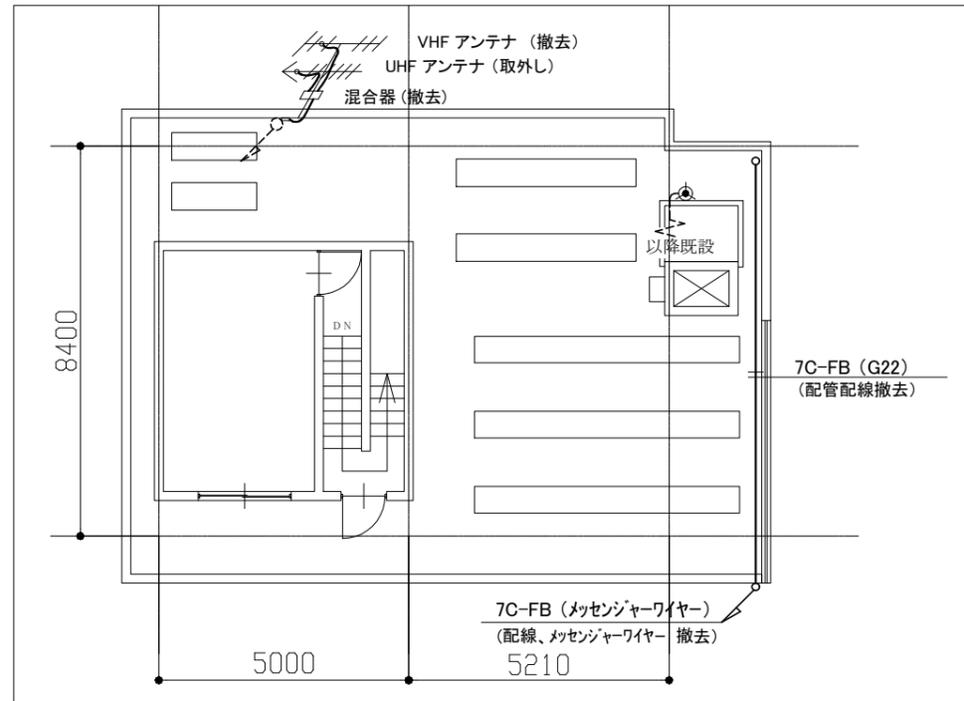
1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 不要な配管、配線、器具類等は、撤去処分とする。
ただし、既設の埋設配管等は、残置とする。
3. 器具等の撤去跡がある場合は、補修を施すものとする。

4階 電気撤去 1/100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	4階 電気撤去図	図番	22/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



RHF 電気撤去・取外し図 2 1/100

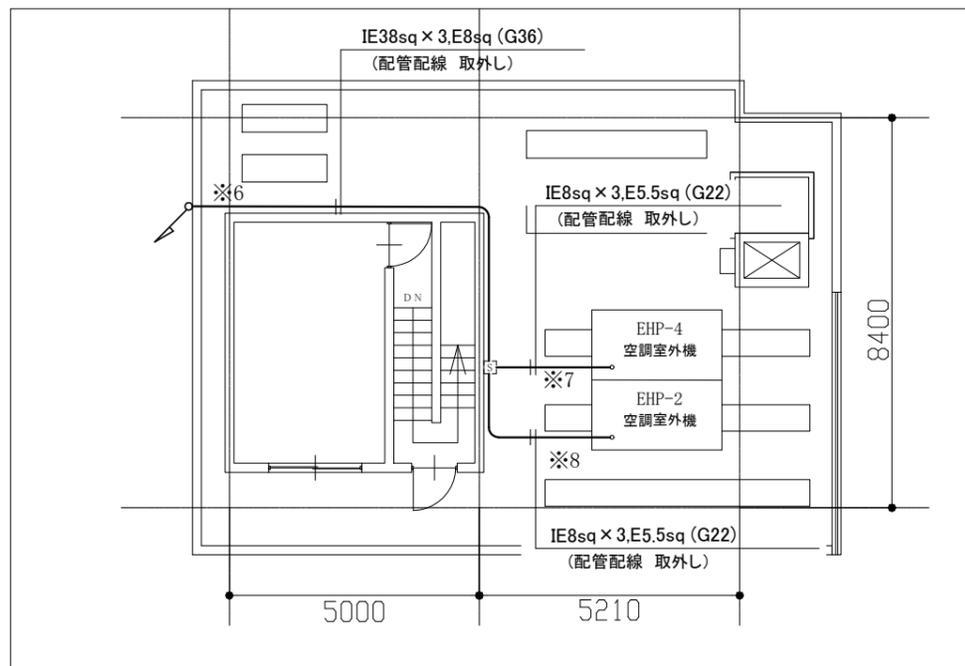


RHF 電気撤去、取外し図 4 (弱电設備) 1/100

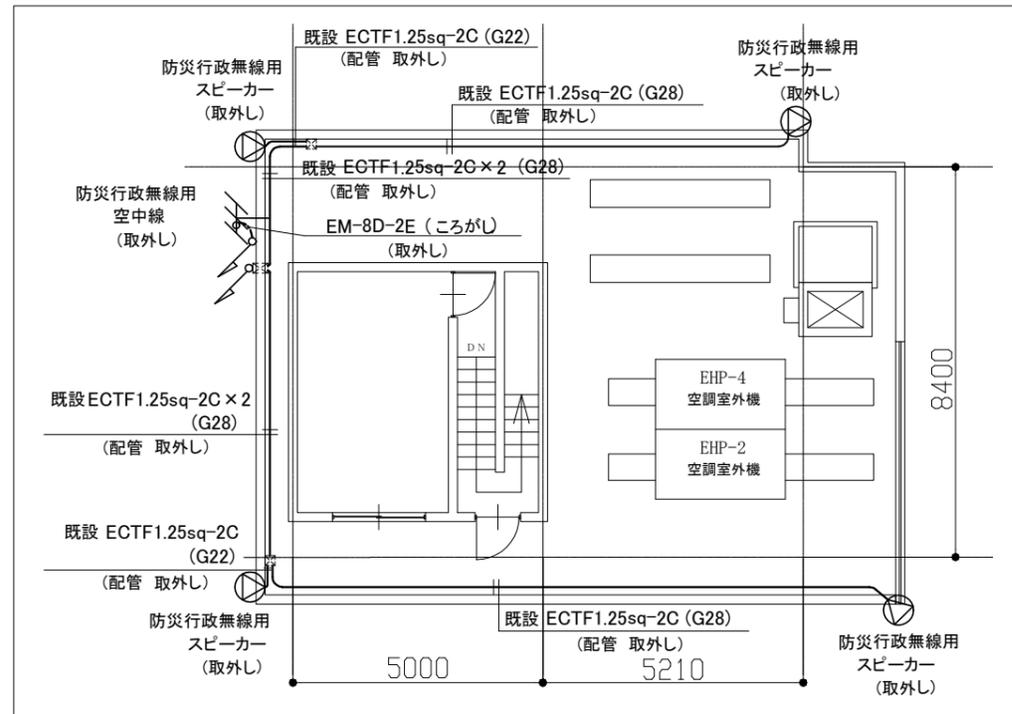
凡例

図中特記無き記号は以下の通り

- 撤去 避雷針
- 側壁形 LR-1 SUS-6
取外し 防災行政無線用スピーカー
レフレックスホーンスピーカー 60W
- 既設 空調開閉器盤
- 既設 プルボックス
- 既設 プルボックス
- 既設 配線



RHF 電気取外し図 1 (空調設備) 1/100



RHF 電気取外し図 3 (防災行政無線) 1/100

注記

1. 図中の特記なき記号及び配線は、凡例を参照とする。
2. 不要な配管、配線、器具類等は、撤去処分とする。ただし、既設の埋設配管等は、残置とする。
3. 器具等の撤去跡がある場合は、補修を施すものとする。
4. 取外しとは、既設配管や既設器具等の支持金物を取り外し、壁から浮かせた状態または、壁から建設足場に仮設した状態をいう。
5. 防災行政無線関係の工事部分(スピーカー、空中線、配管配線等)については、設置業者(東芝インフラシステムズ(株))が取外し、再取付施工を行い、復旧後、消防局庁舎親機から機能確認を行うものとする。また、スピーカー、空中線、配管配線等を取外し、足場等に仮設として取付、工事期間中も機能が発揮できるようにする。工事完了後には、スピーカー、空中線、配管配線等を既設位置へ戻すものとする。(本工事)
6. ※6の配管配線は、外壁塗装前に空調開閉器盤の1次側からRF階のP.BOXまで配線を引戻し、FEP管等で保護し、工事期間中も空調機(EHP-4,EHP-2)が使用できるものとする。
7. ※7.8の配管配線は、外壁塗装前に開閉器盤Dまで配線を引戻し、FEP管等で保護し、工事期間中も空調機(EHP-4,EHP-2)が使用できるものとする。
8. 避雷針については、避雷針のみ撤去し、配線は既設を使用するものとする。

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	RHF 電気撤去、取外し図	図番	24/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				

■機器表■

記号	名称	場所	機器仕様	電源	台数	備考
ACP-1	パッケージ形空調機	用務員室	冷房能力2.8kW、暖房能力3.6kW 冷媒：R32 0.61kg	単相100V	1	パナソニック㈱ 室外機重量：21kg

■ 凡例 ■

記号	名称	施工場所	材料	保温防食塗装等	備考
—R—	冷媒管	屋外露出	断熱材被覆銅管	SUSラッキング	ACP-1の保温は保温化粧ケース
—D—	ドレン管	屋外露出	VP	—	—
—	給水管（直結）	屋外露出	SGP-VB	—	—
		埋設	HIVP	管廻り100mm山砂で防護	—
—	冷却水用補給水管	屋外露出	SGP-VA	—	—
—CH—	冷温水管	屋外露出	SGP-白	SUS+グラスウール	—

■ 撤去・新設 ■

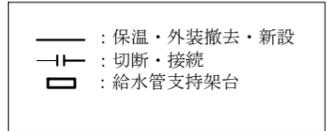
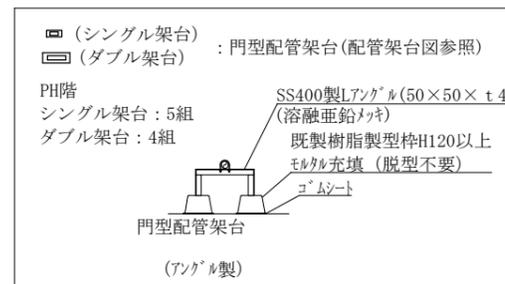
記号	名称	寸法	数量
●	パイプフード	φ100	6
	パイプフード	φ150	6
	パイプフード	φ200	10
	パイプフード	φ250	3

記号	名称	寸法	数量	場所
▼	ウェザーカバー	250×250	1	5階 大気汚染観測室
	ウェザーカバー	250×250	2	PH階 EV機械室

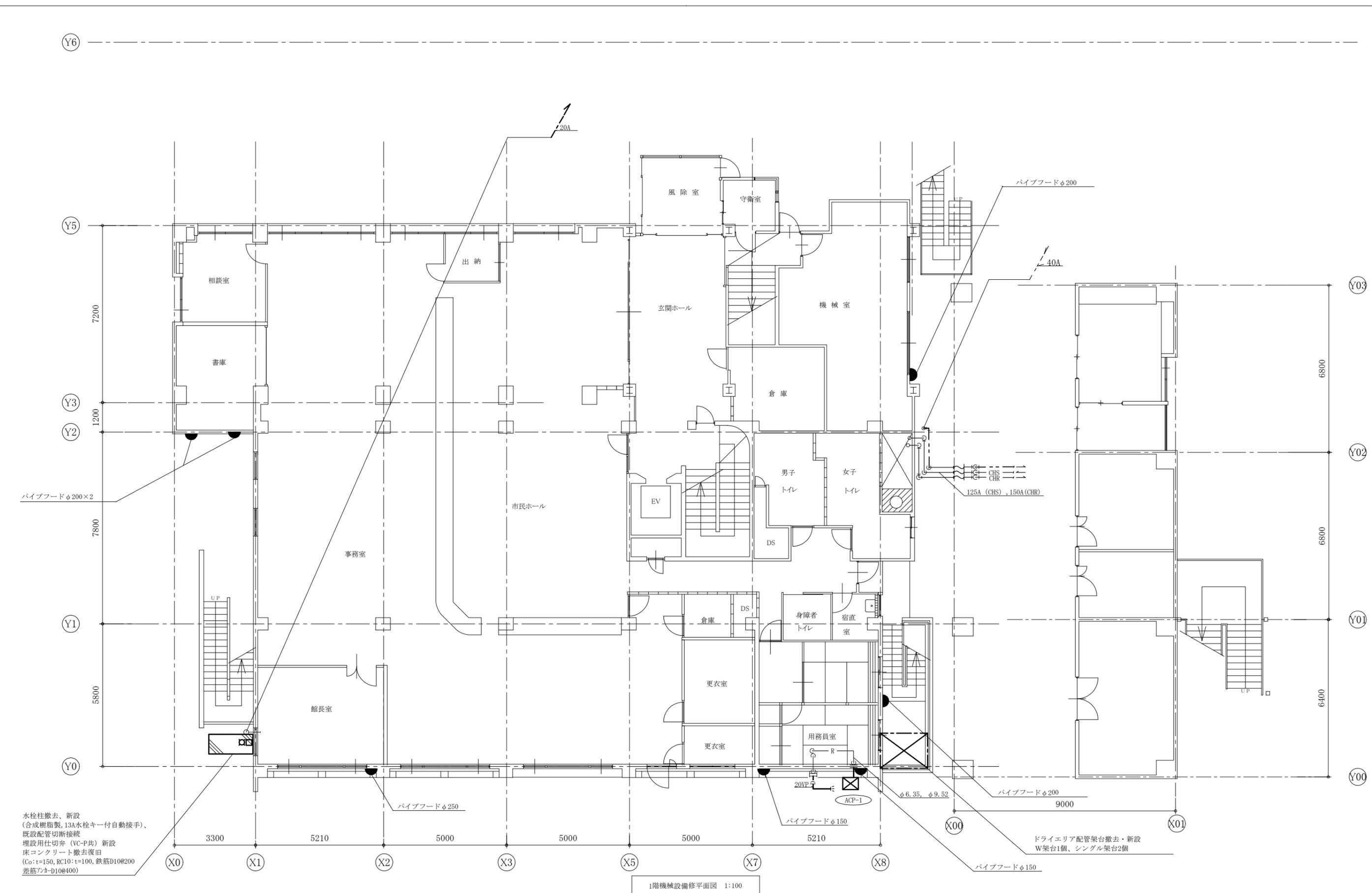
※防鳥網共

■ 工事内容 ■

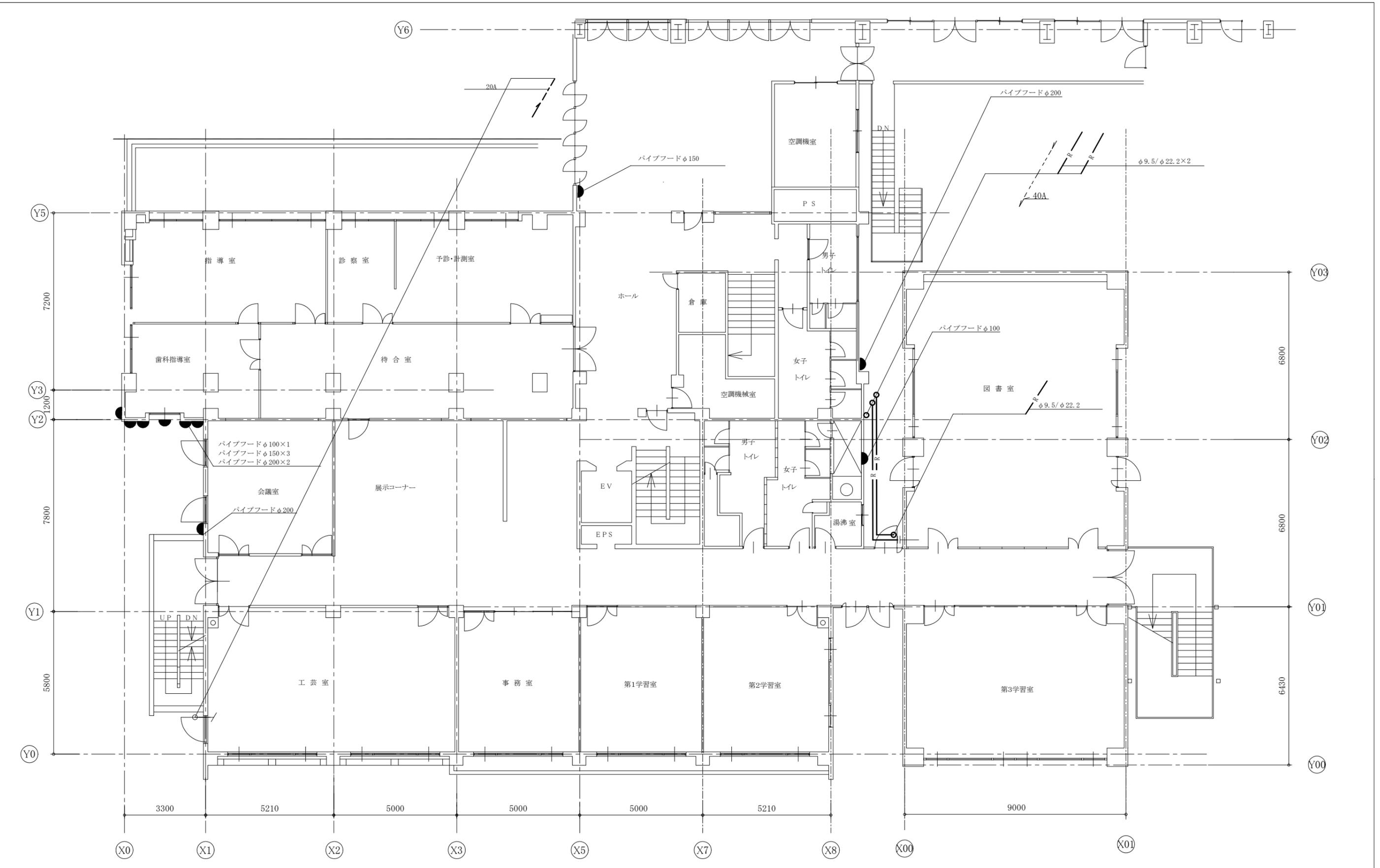
※空調室外機（ACP-1）は施設関係者立会いのもと、施工前、施工後に動作確認を行うこと。異常があった場合、監督員に報告すること。
 ※空調室外機（ACP-1）は冷媒管切断前にポンプダウンを行い室外機移設後、再接続して利用可能とする。
 ※空調室外機（ACP-1）の基礎は撤去しない。
 ※空調室外機（ACP-1）冷媒管とドレン管を撤去・新設する。（図面参照）
 ・PH階 シングル架台：5、ダブル架台：4
 ・冷媒管用架台は撤去・新設。
 ※各SUSラッキングは図示により撤去・新設とする。
 ドライエリア：W架台×1、シングル架台×2撤去（三角ブラケットW=200×4を新設する）
 1階：冷却塔補給水管支持架台×7（三角ブラケットを新設する）
 2階：三角ブラケットW=200×6
 4階：冷却塔補給水管支持架台Cチャン架台×7個（三角ブラケットW=200×7を新設とする）
 5階：給水管支持架台×4、Cチャン架台×1個（Cチャン架台は三角ブラケットW=200×5を新設する）
 ・パイプフード撤去・新設。
 （SUS製・深型・ガラリ付）



工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	機器表、凡例、配管架台図 パイプフード・ウェザーカバー撤去・新設表	図番	25/31	縮尺	no scale	作図	令和5年10月 日				

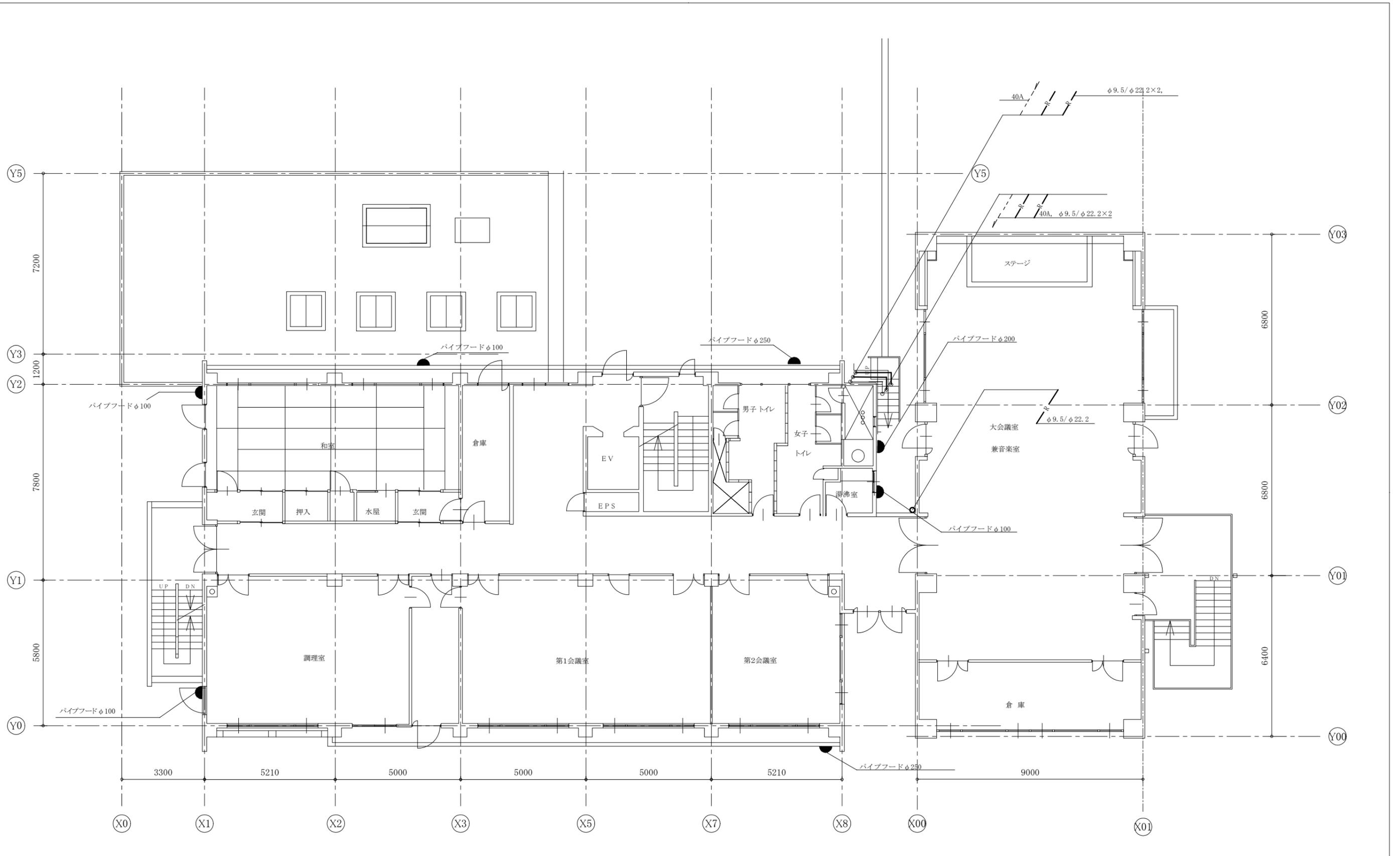


工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格 氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	1階機械設備改修平面図	図番	26/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



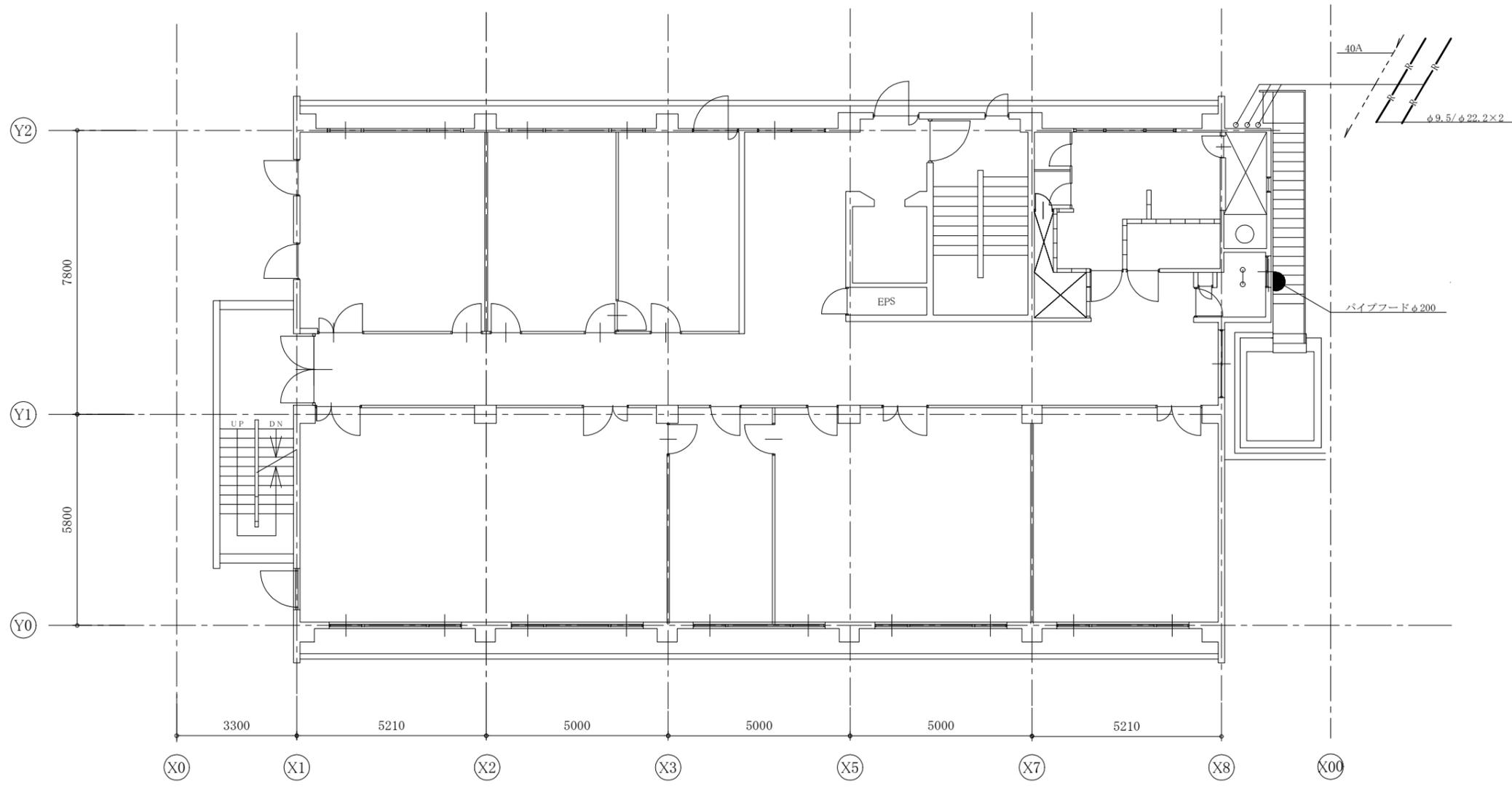
2階機械設備改修平面図 1:100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事		設計者資格 氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	2階機械設備改修平面図	図番	27/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日			



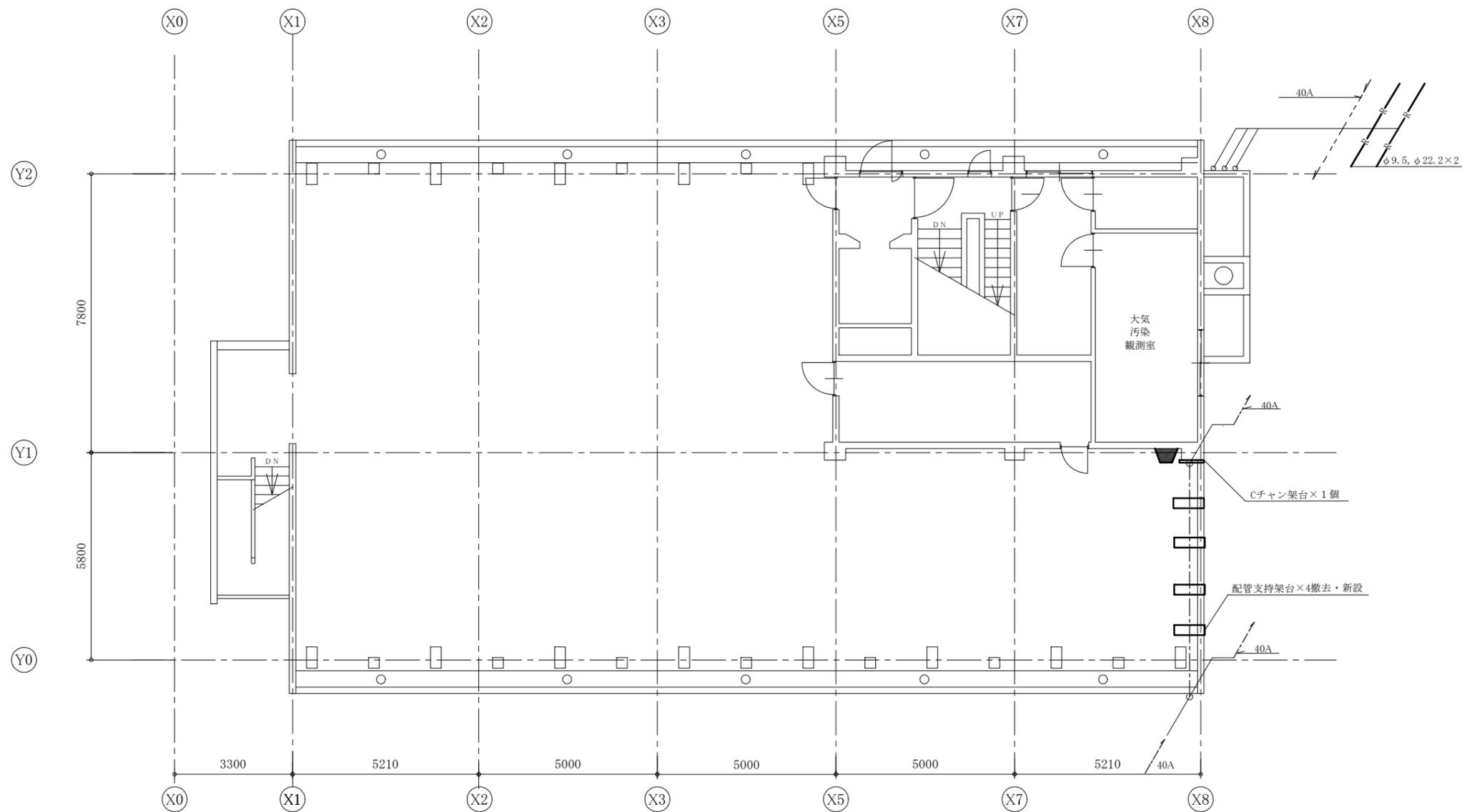
3階機械設備修平面図 1:100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	3階機械設備改修平面図	図番	28/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



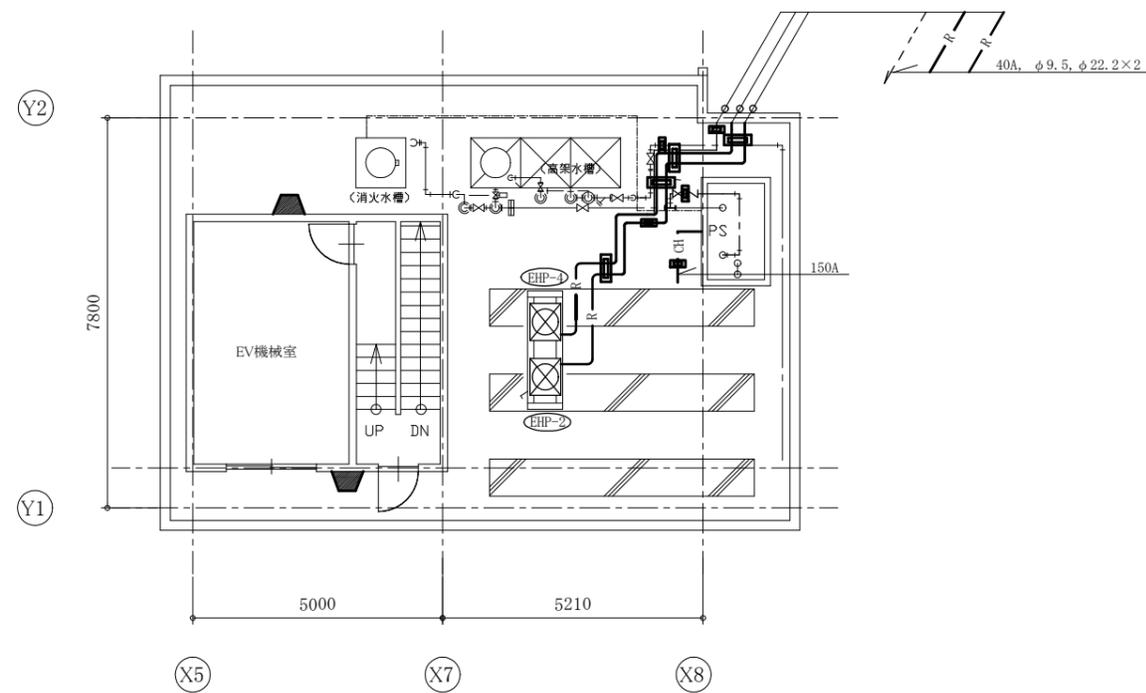
4階機械設備修平面図 1:100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格 氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	4階機械設備改修平面図	図番	29/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



5階機械設備修平面図 1:100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格 氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	5階機械設備改修平面図	図番	30/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				



PH階機械設備修平面図 1:100

工事名	衣笠行政センター外壁改修その他工事			設計者資格 氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	PH階機械設備改修平面図	図番	31/31	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年10月 日				